

明治四十一年四月七日

國官文第二一一號

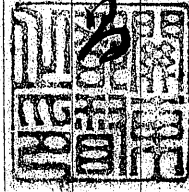
第一課

第4門

當府明治四十一年度地方費收入支出決算
並府令自第廿五號訓令自第卅一號告示至
第卅三號及明治四十一年三月府令第卅五號
別表及書式令訓令第卅六號樣式令卅
六號別冊發布候二付別紙及報告候也

明治四十一年四月七日

關東都督子爵大島義



外務大臣伯爵林董殿

合計

二十日

關東洲長政署

6-0010

府令第十五號

關東州公學堂規則左ノ通相定ム

明治四十二年三月三十日

關東都督 子爵大島義昌

關東州公學堂規則

第二章 總則

第一條 公學堂ハ支那人ノ子弟ヲ教育スル所トス

公學堂ニ於テハ兒童身體ノ發達ニ留意シ日本語ヲ教ヘ德育ヲ

施シ並其ノ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クルヲ以テ本

旨トス

第二條 公學堂ハ關東都督ニ於テ必要ト認ムル地ニ之ヲ設置ス

第三條 公學堂ハ修業年限、教科目、教科用圖書及編制

第四條 公學堂ハ修業年限ハ六箇年トス但シ土地ノ狀況ニ依リ

四箇年ニ短縮スルコトヲ得

第五條 公學堂ノ教科目ハ修身、日本語、漢文、算術、圖書、唱歌

體操トシ女生徒ニハ裁縫ヲ加フ

土地ノ狀況ニ依リ農業商業手工ノ一科目又ハ數科目ヲ加フル

コトヲ得其ノ數科目ヲ加ヘタル場合ニハ農業商業ヲ併キ課ス

ルコトヲ得

前項ニ依リ加フル教科目ニ之ヲ隨意科目ト爲スコトヲ得

第六條 第三條第二項ノ修業年限ヲ短縮シ又ハ前條第三項ノ教

科目ヲ加除セタルハ關東都督長ニ於テ其ノ理由及毎週

教授時數表ヲ具シ關東都督之認可ヲ受クベシ

第七條 必要ニ應ジ公學堂ニ補習科又ハ速成科ヲ置クコトヲ得

補習科及速成科ニ關スル規程ハ關東都督之ヲ定ム

第八條 公學堂ノ教科用圖書ハ關東都督之ヲ定ム

第九條 公學堂ノ教科目中生徒身體ノ情況ニ依リ學習スルコト

能ハザル教科目之ヲ其ノ生徒ニ課セザルコトヲ得

第九條 各學年ノ教授ノ程度及毎週教授時數ハ別表ニ依リ定ム

農業商業手工ノ一科目又ハ數科目ヲ加フルトキハ修身科ヲ除

キ他ノ數科目ノ毎週教授時數ヨリ各二時以內ヲ割キ之ニ充ツ

ベシ

第十條 學堂長ニ於テ各學年ノ課程修了若ハ全教科ヲ卒業ヲ認

ムルトキハ別ニ試驗ヲ用ヅルコトナク兒童平素ノ成績ヲ考查

シテ之ヲ定ム

第十一條 學堂長ハ學年未ニ於テ各學年ノ課程ヲ修了セリト認

メタル者ハ第一號書式ヲ修業證書トシ修業年限ノ終ニ於テ全

教科ヲ修了セリト認メタル者ニハ第二號書式ノ卒業證書ヲ授

與ス

第十二條 公學堂ニ於テ一學級ノ生徒數ハ六十人以下トス

第十三條 公學堂長ハ擔任スル教授ヲ補助スル爲四學級以上ノ

公學堂ニ於テハ教諭及助教一ハハ置クコトヲ得

第十四條 公學堂ニ於テハ男女學級ヲ分ツベシ

第十五條 公學堂ノ學級ヲ編制シ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ

ハ民政署長ニ於テ關東都督ノ認可ヲ受クベシ

第十六條 學年及休業日ハ關東都督之ヲ定ム

第十七條 公學堂ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ

終ル

第十八條 公學堂ノ學期ハ之ヲ分テ左ノ二學期トス

第一學期 學年ノ始ヨリ夏期休業ノ前日ニ至ル

第二學期 夏期休業後ノ始業日ヨリ學年末休業日ニ至ル

第十九條 毎日ノ教授終始ノ時刻ハ學堂長之ヲ定ム

第二十條 公學堂ノ休業日ハ左ノ如シ

一 祝日、大祭日

二 日曜日

三 陸海軍紀念日

四 始政紀念日

五 開校紀念日

六 夏期休業日 八月一日ヨリ同月三十日ヨリ至ルニ至ル

七 冬期休業日 十二月二十六日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

八 學年未休業日 三月二十六日ヨリ同月三十一日ヨリ至ル

九 特別ノ事情ニ依リ前項ノ外臨時休業ヲ要スルトキ及前項第六號第七號ノ期日ヲ變更セシムルニ至リテハ學堂長ニ於テ其ノ事由ヲ具シ民政署長ノ認可ヲ受クヘシ

十 天災時變其ノ他ノ場合ニ際シ前項ノ認可ヲ受ケル限キキトキハ學堂長ニ於テ臨時休業ヲ行フコトヲ得

十一 第三條 學堂長ハ夏期休業及冬期休業ノ前後二十日以内ニ於テ前項ニ依リ教授時數ヲ減スルコトヲ得

十二 前項ニ依リ教授時數ヲ減スルコトキハ學堂長ニ於テ各教科目ノ每週教授時數ヲ斟酌スヘシ

第十三 第四章 年齡ノ入學及退學

第十四 第二十一條 公學堂ニ入學スヘキ生徒ノ年齡ハ五歲以上十五歲以下トシ學年ノ始ニ於テ入學セムヘシ但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十五 第二十二條 學力優等ニシテ年齡ノ長シタル生徒ハ學堂長ニ於テ各教科目ニ就キ試験ノ上相當學年ニ編入スルコトヲ得

第十六 第二十三條 公學堂ニ兒童ヲ入學セシムルトキハ其ノ兒童ヲ保護スル者ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケタル事項ヲ具シ學堂長ニ願出スヘシ

第十七 一 兒童並保護者ノ氏名、出生年月日、本籍地現住所

二 兒童入學前ノ經歷

三 保護者ノ職業及兒童ニ對シテ關係シタル事項

四 在學ノ兒童ニ關シ前項第一號及第二號ニ掲ケル事項ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ兒童死亡シタルトキハ保護者ニ於テ遲滞ナク之ヲ學堂長ニ届出ヘシ

第二十四條 學堂長ハ入學シタル兒童ニ就キ第三號書式ニ依リ學籍簿ヲ編制スヘシ

第二十五條 前項學籍簿ニ異動ヲ生シタル場合ハ其ノ都度遲滞ナク之ヲ加除訂正スヘシ

第二十六條 在學ノ兒童ヲ退學セシムルトキハ其ノ兒童ヲ保護スル者ニ於テ其ノ事由ヲ具シ學堂長ニ願出ヘシ

第二十七條 學堂長ハ傳染病ニ罹リ若ハ其ノ處アル生徒ノ出席ヲ停止スルコトヲ得

第二十八條 學堂長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル生徒アルトキハ之ニ退學ヲ命スルコトヲ得

一 性行不良ニシテ他ノ生徒ノ教育ニ妨害アリト認メタル者

二 正當ノ理由ナクシテ引續キ二箇月以上出席シ再々出席スヘキ見込ナキ者

第二十九條 學堂長ハ第四號書式ニ依リ生徒出席簿ヲ調製シ其ノ出席ヲ明ニスヘシ

附則

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年三月關東洲民政署令第十四號公學堂規則ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

(別表及書式ハ別ニ之ヲ願フ)

關東洲

南

附令第十六號 關東都府縣電話規則
 明治四十三年三月三十一日 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 電話規則左ノ通相定ムルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 電話規則
 第一條 電話加入ノ分左ノ三種ニ分テ之ルルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 一 單獨加入
 二 共同線加入
 三 連接加入
 第二條 電話加入區域ハ普通加入區域及特別加入區域ノ二種トシ其ノ加入區域ハ別ニ之ヲ定ム
 第三條 官廳公署及公益事業等ノ用ニ供スル電話ニシテ特ニ必要アリト認めタルモノハ電話加入區域ニ拘ラス之ヲ加入セシムルコトヲ得
 第四條 共同線加入ハ電話機設置場所ノ相手方タル共同線加入外之加入區域内ニモ之ヲ看做スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第五條 共同線加入ハ電話機設置場所ノ相手方タル共同線加入外之加入區域内ニモ之ヲ看做スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第六條 共同線加入ハ電話機設置場所ノ相手方タル共同線加入外之加入區域内ニモ之ヲ看做スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第七條 電話交換機加入ハ之ヲ加入毎加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第八條 電話交換機加入ハ之ヲ加入毎加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第九條 電話加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第十條 電話加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第十一條 電話加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第十二條 電話加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第十三條 電話加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則

特別ノ事情アル場合ハ前二項ノ制限ヲ超ユルコトヲ得
 第五條 電話加入ハ之ヲ加入毎加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第六條 電話加入ハ之ヲ加入毎加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第七條 電話加入ハ之ヲ加入毎加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第八條 電話加入ハ之ヲ加入毎加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第九條 電話加入ハ之ヲ加入毎加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第十條 電話加入ハ之ヲ加入毎加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第十一條 電話加入ハ之ヲ加入毎加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第十二條 電話加入ハ之ヲ加入毎加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則
 第十三條 電話加入ハ之ヲ加入毎加入申請書ニ依リ之ヲ申請スルニ付 關東都府縣 五府六縣 關東都府縣 電話規則

其必要ヲ認メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第十二條第五號ノ加入申込ヲ除ク外一人ニシテ現ニ二箇以上ノ加入申込ヲ有スル場合ニ於ケル一箇以外ノ申込
同ノ月内ニ住居ヲ移シ又ハ同ノ住居等ノ名義ヲ以テ
加入申込一名モ以テテ
三 工事施行上順番ニ依リ難キモノ
四 電話開通工事施行ノ猶豫ヲ請求シタルモノ
四 電話開通工事着手ノ通知ヲ受ケタル後電話機設置場所ノ變更ヲ請求シタルモノ

第十三條 其順番ニ依リ開通シ得ヘキ共同線加入申込ニシテ相手方キトモハ相手方アルヲ俟テ之ヲ開通ス但シ相手方アル迄單獨加入ノ使用料ヲ納ムルコトヲ申出ツルトキハ特ニ之ヲ開通スルコトヲ得
第十四條 單獨加入ト共同線加入ト相互變更セムトモモトモハ其ノ請求書ヲ當該局ニ差出スヘシ
其ノ請求書ニ當該局ニ差出スヘシ
共同線加入ノ申込登記ノ順番ニ依リテアラサレハ單獨加入ニ變更スルコトヲ得
單獨加入ヨリ共同線加入ニ變更シタルモノハ變更後滿一箇年ヲ經過ス且工事上差支ナキ場合ノ外再ヒ單獨加入ニ變更スルコトヲ得

第十五條 加入申込者又ハ加入者其ノ電話機及附屬物品ノ設置場所ヲ變更又ハ移轉セムトモモトモハ其ノ請求書ヲ當該局ニ差出スヘシ但シ他人ノ所有ニ係ル家屋ニ設置セムトモトモハ其ノ家屋所有者ノ承諾書ヲ請求書ニ添附スヘシ
第十六條 共同線加入ノ電話機及附屬物品ノ設置場所ヲ移轉ハ移轉先ニ於テ直ニ共同線加入トシテ開通シ得ル場合ニ限ルモノトス此ノ場合ニ於テ相手方ヲ選ビモハ現ニ加入者タルモノヲ選ビ得

第十七條 共同線加入ニ其ノ相手方ヲ變更若ハ取消ヲ爲シタルトキ或ハ除名セラレタルトキ又ハ第十四條第二項ノ距離以外ニ移轉シタルトキハ新ニ相手方ヲ得ル迄其ノ通話取扱ヲ休止ス但シ單獨加入ノ使用料ヲ納ムルトキハ之ヲ通話取扱ヲ繼續スルコトヲ得
第十八條 連接加入ハ本加入カ變更若ハ取消ヲ爲シタルトキ或ハ除名セラレタルトキ又ハ連接加入ノ電話機設置場所ヨリ二町以外ニ移轉シタルトキ當然消滅ス
第十九條 加入申込者卓上電話機ノ設置ヲ請求セムトモトモハ其ノ請求書ヲ當該局ニ差出ス
加入者卓上電話機ノ普通電話機ニ普通電話機ヲ卓上電話機ニ又卓上電話機ノ種別ヲ變更セムトモトモハ其ノ請求書ヲ當該局ニ差出ス
第二十條 卓上電話機設置ノ請求書ニハ其ノ種別ヲ附記スヘシ
第二十一條 加入申込者又ハ加入者左記各號ノ裝置ヲ爲サムトモモトモハ其ノ請求書ヲ當該局ニ差出スヘシ但シ第三號ノ場合ニ於テハ加入申込者又ハ加入者其ノ施設ニ係ル線條ノ機械及附屬物品ニ關シ之ヲ認可ヲ受ケヘシ又其ノ維持並交換取扱方法ハ當該局ニ於テ指示スルコトアルヘシ
一 加入電話機ニ受話器ヲ増設セムトモトモ
二 加入電話機設置場所同一戸内ニ於テ同一回線中ニ電話機又ハ電鈴ヲ増設セムトモトモ
三 加入電話機設置場所同一ナル自己ノ邸宅内若ハ構内ニ於テ電信法第三條第一號及明治三十三年ノ逓信省令第五十號官廳用電信電話規程第一條第一號ニ依リ施設シタル電話機ヲ交換線ニ接続セムトモトモ

但シ第四條第三項ノ距離以内ノ移轉又ハ本加入ト共ニ移轉スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第十七條 共同線加入ニ其ノ相手方ヲ變更若ハ取消ヲ爲シタルトキ或ハ除名セラレタルトキ又ハ第十四條第二項ノ距離以外ニ移轉シタルトキハ新ニ相手方ヲ得ル迄其ノ通話取扱ヲ休止ス但シ單獨加入ノ使用料ヲ納ムルトキハ之ヲ通話取扱ヲ繼續スルコトヲ得
第十八條 連接加入ハ本加入カ變更若ハ取消ヲ爲シタルトキ或ハ除名セラレタルトキ又ハ連接加入ノ電話機設置場所ヨリ二町以外ニ移轉シタルトキ當然消滅ス
第十九條 加入申込者卓上電話機ノ設置ヲ請求セムトモトモハ其ノ請求書ヲ當該局ニ差出ス
加入者卓上電話機ノ普通電話機ニ普通電話機ヲ卓上電話機ニ又卓上電話機ノ種別ヲ變更セムトモトモハ其ノ請求書ヲ當該局ニ差出ス
第二十條 卓上電話機設置ノ請求書ニハ其ノ種別ヲ附記スヘシ
第二十一條 加入申込者又ハ加入者左記各號ノ裝置ヲ爲サムトモモトモハ其ノ請求書ヲ當該局ニ差出スヘシ但シ第三號ノ場合ニ於テハ加入申込者又ハ加入者其ノ施設ニ係ル線條ノ機械及附屬物品ニ關シ之ヲ認可ヲ受ケヘシ又其ノ維持並交換取扱方法ハ當該局ニ於テ指示スルコトアルヘシ
一 加入電話機ニ受話器ヲ増設セムトモトモ
二 加入電話機設置場所同一戸内ニ於テ同一回線中ニ電話機又ハ電鈴ヲ増設セムトモトモ
三 加入電話機設置場所同一ナル自己ノ邸宅内若ハ構内ニ於テ電信法第三條第一號及明治三十三年ノ逓信省令第五十號官廳用電信電話規程第一條第一號ニ依リ施設シタル電話機ヲ交換線ニ接続セムトモトモ

四 同一邸宅内若ハ構内ニ加入以上ノ電話機ヲ有スル加入者其ノ電話機ニ共通スル電話機ヲ増設セムトスルトキ五 前各號ニ依リ増設又ハ接續シタル電話機、受話器若ハ電鈴ノ撤去シ及接續ヲ變更又ハ廢止セムトスルトキ

第二十二條 加入申込者其ノ申込ヲ取消サムトスルニ其ノ請求書ヲ當該局ニ差出スヘシ

第二十三條 電話加入期間ハ電話開通ノ日ヨリ起算シ單獨加入及共同加入ハ滿三箇月トシ連接加入及第六條ニ依リ短期間加入ハ滿三箇月トス但シ其ノ期間ノ末日が第三十八條ニ掲ケル二期ノ中途ナルニテ該期末日迄ノ日數ヲ附加ス

前項ノ加入期間以後ハ每三箇月ヲ以テ加入期間トス

第二十四條 加入者其ノ加入ヲ取消サムトスルニ其ノ請求書ヲ當該局ニ差出スヘシ其ノ請求書ヲ爲ササル者ハ次期ノ加入ヲ繼續スルモノト看做ス

第二十五條 加入申込者ノ名義ノ場合ヲ除ク外之ヲ他ノ名義ニ變更スルコトヲ得ス

現ニ加入ヲ有スル者ハ第二十五條ノ場合ヲ除ク外名義ヲ變更ニ因リ更ニ加入ヲ得ス但シ關東都府府郵便電信局長ニ於テ特ニ其ノ必要ヲ認メタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

加入者其ノ加入ノ名義ヲ變更セムトスルニ其ノ當事者ノ連署シタル請求書ヲ當該局ニ差出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第二十六條 加入者又ハ加入申込者死亡、失踪又ハ隱居ノ場合ニ於テ其ノ加入ヲ繼承セムトスル者ハ其ノ相続人又ハ管理人タルヲ證明書ヲ添ヘ其ノ請求書ヲ當該局ニ差出スベシ

第二十七條 第十一條第一號ニ依リ開通シタル電話ノ同號以外ノモノノ名義ニ變更スルコトヲ得ス

連接加入ノ之ヲ他人ノ名義ニ變更スルコトヲ得ス

第二十八條 依リ開通シタル電話ノ同號以外ノ名義ニ變更

又ハ第六條

第二十七條 電話加入區域變更ノ加入申込者又ハ加入者ノ位
置他ノ加入區域ニ移シタルニ依リ其ノ加入申請書ヲ當該局ニ提出シ其ノ加入區域外ニ爲シタル加入申込者ノ加入
入ハ其ノ加入區域外ニ其ノ加入ヲ繼續シタル電話機及附屬物
品ハ電話加入區域以外他ノ移轉シタルニ依リ得テ明治三十
八年四月通信省令第二十四號特設電話規則第二十三條第三項但
書ニ依リ其ノ加入ヲ繼續シタル加入者ノ位置加入區域外ニ爲
スル場合モ亦同

前項加入區域外加入者ハ特別加入區域内ニ在ル者ト看做ス

第二十八條 電話開通工事着手ノ際加入申込者ノ所在不明ナル
ト時及加入申込者又ハ加入者死亡又ハ失踪ノ場合ニ於テ相續
人又ハ管理人何ヲ出シキトシ其ノ加入申込又ハ加入
ヲ取消スヘシ

第二十九條 關東都府府ニ必要ナル電話ノ加入者ハ其ノ電話
線ノ專用又ハ一定地域内ニ於テ其ノ電話ノ貸與ヲ許スルコト
アルヘシ其ノ條件及料金等ハ別ニ之ヲ定ム

第三十條 加入區域外ノ電話及電話取扱局所ニ於テハ其ノ
電話ハ每五分時間迄ヲ以テ電話時計他ノ電話請求ヲ場
合ノ除外ノ電話時計ニ依リテ繼續スルコトヲ得ス其ノ電話
ノ順序ノ請求ノ順序ニ依リ但シ電話請求ノ順序ニ依リ接續シ
ル場合ニ於テ之ヲ電話時計ニ依リテ其ノ請求ノ消滅スル
モノトス

第三十一條 前條ノ電話時計ノ規定ノ電話料ノ二倍ノ納ムル外
ニ至急電話トシラ一般電話請求ニ先立テ電話ヲ爲スコトヲ
得

第三十二條 加入申込者ハ加入登記料納ムルヘシ又ハ其ノ變更
ノ場合ハ其ノ同號加入ノ相互變更ノ場合ハ新登記料ヲ要セ

當該局納金之日
 第一期 四月三十日迄
 第二期 五月三十一日迄
 第三期 六月三十日迄
 第四期 七月三十一日迄
 第五期 八月三十一日迄
 第六期 九月三十日迄
 第七期 十月三十一日迄
 第八期 十一月三十日迄
 第九期 十二月三十一日迄
 第十期 一月三十一日迄
 第十一期 二月三十一日迄
 第十二期 三月三十一日迄
 第十三期 四月三十日迄
 第十四期 五月三十一日迄
 第十五期 六月三十日迄
 第十六期 七月三十一日迄
 第十七期 八月三十一日迄
 第十八期 九月三十日迄
 第十九期 十月三十一日迄
 第二十期 十一月三十日迄
 第二十一期 十二月三十一日迄
 第二十二期 一月三十一日迄
 第二十三期 二月三十一日迄
 第二十四期 三月三十一日迄
 第二十五期 四月三十日迄
 第二十六期 五月三十一日迄
 第二十七期 六月三十日迄
 第二十八期 七月三十一日迄
 第二十九期 八月三十一日迄
 第三十期 九月三十日迄
 第三十一期 十月三十一日迄
 第三十二期 十一月三十日迄
 第三十三期 十二月三十一日迄
 第三十四期 一月三十一日迄
 第三十五期 二月三十一日迄
 第三十六期 三月三十一日迄
 第三十七期 四月三十日迄
 第三十八期 五月三十一日迄
 第三十九期 六月三十日迄
 第四十期 七月三十一日迄
 第四十一期 八月三十一日迄
 第四十二期 九月三十日迄
 第四十三期 十月三十一日迄
 第四十四期 十一月三十日迄
 第四十五期 十二月三十一日迄
 第四十六期 一月三十一日迄
 第四十七期 二月三十一日迄
 第四十八期 三月三十一日迄
 第四十九期 四月三十日迄
 第五十期 五月三十一日迄
 第五十一期 六月三十日迄
 第五十二期 七月三十一日迄
 第五十三期 八月三十一日迄
 第五十四期 九月三十日迄
 第五十五期 十月三十一日迄
 第五十六期 十一月三十日迄
 第五十七期 十二月三十一日迄
 第五十八期 一月三十一日迄
 第五十九期 二月三十一日迄
 第六十期 三月三十一日迄
 第六十一期 四月三十日迄
 第六十二期 五月三十一日迄
 第六十三期 六月三十日迄
 第六十四期 七月三十一日迄
 第六十五期 八月三十一日迄
 第六十六期 九月三十日迄
 第六十七期 十月三十一日迄
 第六十八期 十一月三十日迄
 第六十九期 十二月三十一日迄
 第七十期 一月三十一日迄
 第七十一期 二月三十一日迄
 第七十二期 三月三十一日迄
 第七十三期 四月三十日迄
 第七十四期 五月三十一日迄
 第七十五期 六月三十日迄
 第七十六期 七月三十一日迄
 第七十七期 八月三十一日迄
 第七十八期 九月三十日迄
 第七十九期 十月三十一日迄
 第八十期 十一月三十日迄
 第八十一期 十二月三十一日迄
 第八十二期 一月三十一日迄
 第八十三期 二月三十一日迄
 第八十四期 三月三十一日迄
 第八十五期 四月三十日迄
 第八十六期 五月三十一日迄
 第八十七期 六月三十日迄
 第八十八期 七月三十一日迄
 第八十九期 八月三十一日迄
 第九十期 九月三十日迄
 第九十一期 十月三十一日迄
 第九十二期 十一月三十日迄
 第九十三期 十二月三十一日迄
 第九十四期 一月三十一日迄
 第九十五期 二月三十一日迄
 第九十六期 三月三十一日迄
 第九十七期 四月三十日迄
 第九十八期 五月三十一日迄
 第九十九期 六月三十日迄
 第一百期 七月三十一日迄

第四十三條 加入登記料加入申込ノ爲メトキ名義書換料ハ其ノ請求ヲ爲ストキ電話線接續料及機械移轉料ハ當該局ノ指定ノ期日迄ニ之ヲ納ムヘシ

第四十四條 左ノ料金ニ郵便切手ヲ以テ之ヲ納ムヘシ
 一 加入登記料名義書換料
 二 電話取扱局所屬電話ニ於テ納ムヘキ電話料

第四十五條 左ノ場合ニ於テ加入登記料加入申込者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス
 一 第十八條ニ依リ加入申込ノ消滅シタルトキ
 二 第二十七條ニ依リ加入申込ヲ取消シタルトキ
 第四十六條 左ノ場合ニ於テ電話使用料及附加使用料ハ年額金ノ割リ以テ之ヲ免除ス但シ其ノ料金既納ニ係ルトキハ加入者請求ニ依リ之ヲ還付ス

第四十七條 依リ共同線加入ノ電話取扱ヲ休止シタルトキ其ノ休止中ニ係ルモ
 第十八條ニ依リ加入消滅シタルトキ其ノ消滅ノ翌日以後ニ係ルモ
 三 加入者ノ過失ニ因リテ電話不通ニ至リ其ノ日數十五日以上ニ亙リタルトキ其ノ不通期間ニ係ルモ但シ加入者復舊工事ノ延期ヲ請求シタルトキハ其ノ日數ヲ除ク

前項第三號不通ノ日數ハ當該局ニ於テ其ノ事故ヲ認メタリヨリ起算ス

第四十七條 加入者第二十三條ノ加入期間内ニ於テ加入ヲ取消シタルトキ又加入口ノ除名セラレタルトキト雖其ノ期間内ニ屬スル電話使用料及附加使用料ハ之ヲ免除セス

6-0010

第五十八條 依前條之停止シタルトキハ其ノ停止期間中ノ電話使用料及附加使用料之ヲ免除セシメ
長距離通話ノ廢止電話機及其ノ附屬物品ノ移轉増設機ノ撤去電話機ノ變更又ハ私設電話機接續ノ廢止ニ因リ附加使用料ノ消滅若ハ減少スベキ場合ト雖其ノ期ノ附加使用料之ヲ免除セシメ
第四十八條 第四十五條ニ依ル料金ノ還付請求及第四十六條ニ依ル免除ノ料金ニシテ既納ニ係ルモノノ還付請求ハ當該局ニ之ヲ爲スベシ其ノ請求期間左ノ如シ
一 第四十五條ニ依ル場合ハ加入申込消滅又ハ取消ノ日ヨリ六十日間
二 第四十六條ニ依ル場合ハ料金納付ノ日ヨリ五箇月間
第四十九條 郵便切手ヲ以テ納メタル電話ニ關スル料金ヲ還付スル場合ハ郵便切手ヲ用テ之ヲ收收又ハ還付スベキ場合ハ錢貨未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ切捨ツ
第五十一條 加入者ノ使用ニ供スル電話線電話機及其ノ附屬物品ハ當該局ニ於テ之ヲ設備ス
前項ノ電話線電話機及其ノ附屬物品ヲ加入者自ラ供給セムトスルニシテ之ヲ當該局ニ請求スヘシ但シ其ノ請求ニ應ジタル場合ハ電話線使用料及附加使用料之ヲ免除セシメ
第三條ニ依リ加入申込者ハ當該局ノ指定スル所ニ從テ其ノ普通加入區域外ニ係ル電話線路ヲ建設シ之ヲ當該局ニ引渡スヘシ其ノ加入後移轉ノ爲線路ノ新設ヲ要スルトキ亦同シ但シ關東都府ニ於テ引渡受タズ必要ナシト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第五十五條 當該局ニ時時吏員又ハ其ノ所屬員ヲ派遣シ加入者ノ使用ニ供スル電話機設置ノ邸宅内若ハ構内ニ在リ電話線電話機及其ノ附屬物品ヲ點檢シ之ヲ修繕スルニ任

身分證明ニシテ之ヲ提出スルコトヲ要ス
第五十三條 通信信署ノ加入者ノ使用ニ供スル電話線電話機及其ノ附屬物品ヲ撤去シ又ハ移轉スル場合ハ於テ其ノ電線機機及物品ノ裝置シタル造營物ヲ原形ニ修復スルノ責ニ任セラルベシ
第五十四條 加入者ノ過失懈怠若ハ故意ニ因リ其ノ使用ニ供スル電話機設置ノ邸宅内若ハ構内ニ在リ電話線電話機及其ノ附屬物品ノ失毀損シタルトキ又ハ第五十七條ニ違背セル所爲ニ因リ復舊工事を要スルトキハ加入者ニ於テ其ノ補充若ハ修繕ニ要スル費用ヲ辨償スヘシ
第五十五條 加入者ハ報酬ヲ受ケ其ノ使用ニ供スル電話機ヲ他人ノ用ニ供シ又ハ報酬ヲ受ケル者ニ之ヲ貸與スヘカラス
第五十六條 本加入者連接加入者及其共同線加入者ハ當該局ノ指示スル器械種取扱方法ニ從ヒ相手方加入者ノ通話ニ關シ妨害ト爲ルカ如キ所爲ヲ爲スルカラス
第五十七條 加入者ハ其ノ使用ニ供スル電話機設置ノ邸宅内若ハ構内ニ在リ電話線電話機及其ノ附屬物品ヲ取外シ若ハ移轉シ又ハ其裝置法ヲ變更シ若シ之ヲ分解シテカラス但シ水火其ノ池ノ事變ニ際シ保護ノ目的ニ出ラタル場合ハ此ノ限ニ在ラス加入者ハ其ノ使用ニ供スル電話機設置ノ邸宅内若ハ構内ニ在リ電話線電話機及其ノ附屬物品ニ他ノ線機機等ヲ連結スベカラス
第五十八條 加入者電話使用料附加使用料及電話料ノ規定ノ期日迄ニ納付セザルトキ又ハ第五十四條ノ補償ヲ辨償セザルトキハ其ノ通話期間通話ヲ停止ス
加入者前條第一項ニ違背スルノ所爲アリタルトキ又ハ故ナク第五十三條ノ點檢ヲ拒ミタルトキハ七日以内ノ期間通話ヲ停止スルコトアルベシ
第二十條第三號ニ依リ加入者安リニ其ノ接續ヲ變更シ若ハ他

ノ線條機械等ヲ連結シタルトキ又ハ過失懈怠者ノ故意ニ因リ
通話ヲ不良ナラシメタルトキハ其ノ接続ヲ停止スルコトアル
ベシ

第五十九條 加入者第五十五條及第五十六條ニ違背スルノ所爲
アリタルトキ又ハ前條第二項ニ依リ通話ヲ停止セラレタル日
自ラ三十日以内ニ滞納ノ金額ヲ納付セザルコトハ加入ヨリ除
名スルベシ

加入者第五十七條第二項ニ違背スルノ所爲アリタルトキ又ハ
前條第三項及第二項ニ依リ一年三回以上通話ヲ停止セラレタ
ルコトハ加入ヨリ除名スルコトアルベシ

第六十條 前條ニ依リ加入ヨリ除名セラレタル者ハ其ノ除名
ノ日ヨリ滿三年ヲ經過スルニ至ラザル限リ再ビ同一ノ加入區
域内ニ於テ加入申込又ハ加入ヲ爲スコトヲ得ズ

第六十一條 通信官署ニ電話交換ヲ生ズル一切ノ事故ニ對シ
其ノ責任任セズ

附則
第六十二條 本規則ハ明治四十二年四月三日ヨリ之ヲ施行スル
ニシテ明治四十年十月關東都府令第三號電話規則ニ之ヲ廢止ス

第六十三條 本規則施行前ニ於ケル電話加入申込又ハ電話加入
以本規則ニ依リ單獨加入申込又ハ單獨加入ト看做スル

第二號書式
加入申込書
電話規則ニ從テ何地電話交換ニ加入致度左ニ加入ノ種類及電
話機設置場所ヲ指定シ別紙承諾書相添ヘ此段申込候也
明治何年何月何日
何市(郡)區(町)何番地
職業
稱號 何 某印

電話加入種類 何加入
電話機設置場所 何市(郡)區(町)何番地
但シ家屋所有者ハ何某ニ有之候

第三號書式
承諾書
今般貴殿ニ於テ何地電話交換ニ加入ノ爲私所有ノ何市(郡)
區(町)何番地何家屋ニ電話機設置ノ趣私ニ於テ故障
無之候也
明治何年何月何日
何市(郡)區(町)何番地
何 某 殿
第三號書式
承諾書
今般貴殿ニ於テ何地電話交換ニ加入ノ爲私所有ノ何市(郡)
區(町)何番地何家屋ニ電話機設置ノ趣私ニ於テ故障
無之候也
明治何年何月何日
何市(郡)區(町)何番地
何 某 殿

府令第十七號
 當府管内特設電話ニ關シテ左記事項ヲ除ク外明治三十八年
 四月通省令第三十四號特設電話規則ヲ準用シ明治四十一年四月
 一日ヨリ之ヲ施行ス
 明治四十一年三月三十一日 關東都督 子爵 大島義昌
 一 特設電話規則第六條ノ左ノ如ク
 加入登記料 一 加入毎ニ 金 拾圓
 加入登記料 一 加入毎ニ 金 貳圓
 名義書換料 一 加入毎ニ 金 貳圓
 電話交換料 (一) 加入毎ニ 金 拾圓
 (二) 加入毎ニ 金 貳圓
 (三) 加入毎ニ 金 貳圓
 (四) 加入毎ニ 金 貳圓
 二 加入毎ニ 金 貳圓
 三 加入毎ニ 金 貳圓
 四 加入毎ニ 金 貳圓
 五 加入毎ニ 金 貳圓
 六 加入毎ニ 金 貳圓
 七 加入毎ニ 金 貳圓
 八 加入毎ニ 金 貳圓
 九 加入毎ニ 金 貳圓
 十 加入毎ニ 金 貳圓
 十一 加入毎ニ 金 貳圓
 十二 加入毎ニ 金 貳圓
 十三 加入毎ニ 金 貳圓
 十四 加入毎ニ 金 貳圓
 十五 加入毎ニ 金 貳圓
 十六 加入毎ニ 金 貳圓
 十七 加入毎ニ 金 貳圓
 十八 加入毎ニ 金 貳圓
 十九 加入毎ニ 金 貳圓
 二十 加入毎ニ 金 貳圓
 二十一 加入毎ニ 金 貳圓
 二十二 加入毎ニ 金 貳圓
 二十三 加入毎ニ 金 貳圓
 二十四 加入毎ニ 金 貳圓
 二十五 加入毎ニ 金 貳圓
 二十六 加入毎ニ 金 貳圓
 二十七 加入毎ニ 金 貳圓
 二十八 加入毎ニ 金 貳圓
 二十九 加入毎ニ 金 貳圓
 三十 加入毎ニ 金 貳圓
 三十一 加入毎ニ 金 貳圓
 三十二 加入毎ニ 金 貳圓
 三十三 加入毎ニ 金 貳圓
 三十四 加入毎ニ 金 貳圓
 三十五 加入毎ニ 金 貳圓
 三十六 加入毎ニ 金 貳圓
 三十七 加入毎ニ 金 貳圓
 三十八 加入毎ニ 金 貳圓
 三十九 加入毎ニ 金 貳圓
 四十 加入毎ニ 金 貳圓
 四十一 加入毎ニ 金 貳圓
 四十二 加入毎ニ 金 貳圓
 四十三 加入毎ニ 金 貳圓
 四十四 加入毎ニ 金 貳圓
 四十五 加入毎ニ 金 貳圓
 四十六 加入毎ニ 金 貳圓
 四十七 加入毎ニ 金 貳圓
 四十八 加入毎ニ 金 貳圓
 四十九 加入毎ニ 金 貳圓
 五十 加入毎ニ 金 貳圓
 五十一 加入毎ニ 金 貳圓
 五十二 加入毎ニ 金 貳圓
 五十三 加入毎ニ 金 貳圓
 五十四 加入毎ニ 金 貳圓
 五十五 加入毎ニ 金 貳圓
 五十六 加入毎ニ 金 貳圓
 五十七 加入毎ニ 金 貳圓
 五十八 加入毎ニ 金 貳圓
 五十九 加入毎ニ 金 貳圓
 六十 加入毎ニ 金 貳圓
 六十一 加入毎ニ 金 貳圓
 六十二 加入毎ニ 金 貳圓
 六十三 加入毎ニ 金 貳圓
 六十四 加入毎ニ 金 貳圓
 六十五 加入毎ニ 金 貳圓
 六十六 加入毎ニ 金 貳圓
 六十七 加入毎ニ 金 貳圓
 六十八 加入毎ニ 金 貳圓
 六十九 加入毎ニ 金 貳圓
 七十 加入毎ニ 金 貳圓
 七十一 加入毎ニ 金 貳圓
 七十二 加入毎ニ 金 貳圓
 七十三 加入毎ニ 金 貳圓
 七十四 加入毎ニ 金 貳圓
 七十五 加入毎ニ 金 貳圓
 七十六 加入毎ニ 金 貳圓
 七十七 加入毎ニ 金 貳圓
 七十八 加入毎ニ 金 貳圓
 七十九 加入毎ニ 金 貳圓
 八十 加入毎ニ 金 貳圓
 八十一 加入毎ニ 金 貳圓
 八十二 加入毎ニ 金 貳圓
 八十三 加入毎ニ 金 貳圓
 八十四 加入毎ニ 金 貳圓
 八十五 加入毎ニ 金 貳圓
 八十六 加入毎ニ 金 貳圓
 八十七 加入毎ニ 金 貳圓
 八十八 加入毎ニ 金 貳圓
 八十九 加入毎ニ 金 貳圓
 九十 加入毎ニ 金 貳圓
 九十一 加入毎ニ 金 貳圓
 九十二 加入毎ニ 金 貳圓
 九十三 加入毎ニ 金 貳圓
 九十四 加入毎ニ 金 貳圓
 九十五 加入毎ニ 金 貳圓
 九十六 加入毎ニ 金 貳圓
 九十七 加入毎ニ 金 貳圓
 九十八 加入毎ニ 金 貳圓
 九十九 加入毎ニ 金 貳圓
 一百 加入毎ニ 金 貳圓

府令第十八號
 明治四十年十月廿二府令第七十五號旅順及大連水道給水規則中左ノ
 通改正ス
 明治四十一年三月三十一日 關東都督 子爵 大島義昌
 第四十四條中 所轄民政署長ニラ 水道事務署長ニ改ム
 附 則
 本令、明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

信

所

6-0010

府令第十九號
明治四十年四月府令第二十二號旅順電燈使用規則中左ノ通改正ス
明治四十一年三月二十一日 關東都督 子爵大島義昌
第三十八條中「旅順民政署長」ヲ「電氣作業所長」ニ改ム
附則
本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

6-0010



府令第三十號
關東州小學校授業料規則左ノ通相定ム
明治四十三年四月二日 關東都督 子爵大島義昌

第一條 關東州小學校授業料規則
第二條 關東州小學校ニ入學シタル兒童ヲ保護スル者ハ其ノ兒童ノ在學中授業料ヲ納ムベシ
第三條 授業料ハ尋常小學校ニ在リテハ二箇月二十錢高等小學ニ在リテハ三箇月五十錢トシ毎月二十五日ニ於テ其ノ月分ヲ徵收ス但シ納期日休日ニ當ルトキハ繰下ケ退學又ハ死亡ノ場合ハ隨時之ヲ徵收ス
第四條 一家内ノ兒童二名以上同一ノ學校ニ就學スル場合ニ於テハ上級ノ者一名ヲ全額トシ他ハ總テ半額トス
第五條 夏期又ハ冬期休業若ハ學校都合ニ依リ休業全月ニ涉リタルトキ又ハ兒童ノ病氣其ノ他ノ事由ニ依リ關席全月ニ涉リタルトキハ其ノ月分ノ授業料ヲ徵收セズ
第六條 關東州内他ノ小學校ニ在學シタル者入學シタル場合ニ於テ既ニ其ノ月分ノ授業料ヲ納メタルトキハ再之ヲ徵收セズ
第七條 貧困ニシテ授業料納付ヲ資力ナキ者ニ對シテハ學校長ノ具申ニ依リ民政署長ニ於テ其ノ全部又ハ一部ノ免除ヲ爲スベシ

附則
本令ハ明治四十三年四月二日ヨリ之ヲ施行ス

摘要

第一條 關東州小學校授業料規則

第二條 關東州小學校ニ入學シタル兒童ヲ保護スル者ハ其ノ兒童ノ在學中授業料ヲ納ムベシ

第三條 授業料ハ尋常小學校ニ在リテハ二箇月二十錢高等小學ニ在リテハ三箇月五十錢トシ毎月二十五日ニ於テ其ノ月分ヲ徵收ス但シ納期日休日ニ當ルトキハ繰下ケ退學又ハ死亡ノ場合ハ隨時之ヲ徵收ス

第四條 一家内ノ兒童二名以上同一ノ學校ニ就學スル場合ニ於テハ上級ノ者一名ヲ全額トシ他ハ總テ半額トス

第五條 夏期又ハ冬期休業若ハ學校都合ニ依リ休業全月ニ涉リタルトキ又ハ兒童ノ病氣其ノ他ノ事由ニ依リ關席全月ニ涉リタルトキハ其ノ月分ノ授業料ヲ徵收セズ

第六條 關東州内他ノ小學校ニ在學シタル者入學シタル場合ニ於テ既ニ其ノ月分ノ授業料ヲ納メタルトキハ再之ヲ徵收セズ

第七條 貧困ニシテ授業料納付ヲ資力ナキ者ニ對シテハ學校長ノ具申ニ依リ民政署長ニ於テ其ノ全部又ハ一部ノ免除ヲ爲スベシ

附則
本令ハ明治四十三年四月二日ヨリ之ヲ施行ス

關東都督 子爵大島義昌

民政署長 何民政署

明治四十三年	四月	二日
明治四十三年	四月	二日
明治四十三年	四月	二日
明治四十三年	四月	二日
明治四十三年	四月	二日
明治四十三年	四月	二日
明治四十三年	四月	二日
明治四十三年	四月	二日
明治四十三年	四月	二日
明治四十三年	四月	二日
明治四十三年	四月	二日
明治四十三年	四月	二日

6-0010

府令第三十三號
巡査配置請願規則左ノ通り相定ム
明治四十一年四月二日 關東都督 子爵大島義昌

第一條 巡査配置請願規則
第一條 巡査ノ配置ヲ請願セムトスルモ、請願者ノ住所、氏名、配置ノ目的、場所、配置ノ人員、期間、請願ノ位置ヲ具シ所屬ノ警察官署ノ經テ關東都督ノ許可ヲ受ケルベシ

第二條 請願巡査ノ配置ヲ許可シ、其期間ハ、會計年度内ニ限リ三箇月ヲ以テ最短期トス但シ年度未月迄三箇月ニ滿サル場合、其ノ會計年度未迄ノ月數ヲ以テ請願時期トス

會計年度後引續キ配置ヲ要スルモ、其期限滿リ、箇月前迄ニ其ノ請願出ス

第三條 請願巡査配置ノ許可ヲ受ケタル者ハ、巡査請願所ニ必要ノ器具及消耗品ヲ供給スベシ

第四條 請願巡査配置ノ許可ヲ受ケタルモ、六箇月毎ニ所屬ノ民政署民政支署又ハ警察署ニ請願巡査費用ヲ前納スベシ但シ一箇月未滿及端日數アルトキハ、日割ヲ以テ徵收ス

第五條 請願巡査ノ關スル費額ハ、別ニ告示ス

第六條 請願期間内ニ配置ヲ停止又ハ人員ヲ減少ノ願出ルモ、既納ノ費用、之ヲ還付セズ但シ管外都合ニ依リ配置ヲ停止シ又ハ人員ヲ減少シタルトキハ、其ノ翌日ヨリ日割ヲ以テ還付ス

附則
本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

現ニ配置セシ請願巡査ハ本令ニ依リ許可シタルモノト看做ス

訓令第三十三號
民政部
民政署
民政警察官吏駐在所及警務署警察官吏出張所ノ明治四十一年四月二日ヨリ警察官吏派出所ト改稱ス
明治四十一年三月二十日 關東都督 子爵大島義昌

訓令第三十二號
關東都督府郵便電信局現業備人規程別冊ノ通相定ム
明治四十二年三月三十日 關東都督 子爵大島義昌
附則
本令ハ明治四十二年四月廿日ヨリ之ヲ施行ス
(別冊ニ別ニ之ヲ頒ツ)

6-0010



明治四十一年三月訓令第三十二號別冊

關東都督府郵便電信局現業傭人規程

6-0010

關東都督府郵便電信局現業備人規程

明治四十一年三月...

關東都督府郵便電信局現業備人規程

目次

- 第一章 通則
- 第二章 採用
- 第三章 等級及給與
- 第四章 使役
- 第五章 休暇、看護、歸省及轉地療養
- 第六章 懲戒
- 第七章 雜則
- 附則

6-0010



前軍散若等破産宣言受本復權セラル者
五項禁治産者又公華禁治産者(一)種別重罰限ニシテ之ヲ
第十五條 現業備人ニ採用シタルハ志願者ヨリ志願書
第廿三條 現業備人ヲ採用シタルハ志願書ニ添
第廿五條 現業備人ニ採用シタルハ志願書ニ添
第廿六條 現業備人ニ採用シタルハ志願書ニ添
一 關東都府管内ニ在任者ニ限リ之ヲ採用スル
二 獨立ノ生計ヲ營ミ身元確實ナル者
三 第十條各號ニ規定スル必要ト認めル場合ハ身元引受人ノ
第十四條 當該局所長於必要ト認めル場合ハ身元引受人ノ
第十五條 第四十三條ニ依テ現業備人ニ臨時現業備人ハ當該局所
長ニ於テ適當ト認めテ之ヲ採用スル限リ本章ノ規定ニ依テ採用ス
ルコトヲ得

等級	一	二	三	四	五
給料	日給金六十圓以上 月給金一千八百圓以上	日給金五十圓以上 月給金一千五百圓以上	日給金四十圓以上 月給金一千二百圓以上	日給金三十圓以上 月給金九百圓以上	日給金二十圓以上 月給金七百圓以上

四 信ノ使 郵便ノ受ノ郵便ノ業務ノ執行ニ関スルハ
三 給料 現業備人ニ給料シタルハ最高給料受テ滿二箇年ヲ經過シ且技術優
等成績を挙げタル者ハ漸次給料金五圓迄ヲ給スルコトヲ得
第廿八條 現業備人ノ初任等級ハ左ノ如シ
一 通信夫 日給金四十圓以下
二 通信夫 日給金三十圓以下
三 通信夫 日給金二十圓以下
四 通信夫 日給金十圓以下
五 通信夫 日給金五圓以下
六 通信夫 日給金三圓以下
現業備人ニシテ交際近親者以外ニ於テ一旦通信管管内ニ在任
上同前規程ニ依テ採用スル場合ハ其ノ解職當時ノ等級
者ヲ採用スル場合ハ其ノ前職給料額ヲ給スルコトヲ得
第十九條 臨時現業備人ノ給料ハ左ノ制限ヲ超ユルヲ得ズ但シ
郵便物配達ニ電報別配達又ハ郵便物運送ノ爲臨時僱役シテ
給料シタル者ハ在任中ニ於テ本局ノ規定ニ依テ採用ス
ルコトヲ得

ノ給料ニ發令ノ當日ヨリ計算シ退職又ハ死亡ノトキハ其ノ當
日迄計算スル日給金ニ依テ退職金ヲ給スルコトヲ得
第二十三條 現業備人滿三箇年以テ退職シ其ノ服務成績良好ナ
ル者ニ其ノ勤続年數ニ依テ左列ノ區別ニ依テ年功加給ヲ給ス
若シ電報配達手トシテ滿三箇年以前ニ勤続シ東都府郵便電
信局通信夫ニ採用シタル者ハ從前勤続年數本條ノ
年數ニ通算ス

第二十七條 職責起因シテ傷疾病ニ因リ缺勤スルハ其ノ缺勤日數ハ
三 父母ノ忌服祭日ニ因リ缺勤
四 傳染病者ニ爲テ交通遮断又ハ隔離法施行中ニ缺勤スル者ハ
五 徵兵検査又ハ前職點呼ニ因リ七日以内ノ缺勤
六 水害火災其他非常災災災因リ三日以内ノ缺勤
第三十一條 現業備人ヲ採用シタルハ其ノ給料ノ増減シタルトキハ其
給料ノ計算ニ依テ之ヲ計算スルコトヲ得

Handwritten notes in the top right corner, including names and dates.

Vertical text block containing names and dates, likely a list of individuals or events.

Vertical text block containing names and dates, continuing the list from the previous block.

Text block with a header (第三號様式) and a table with columns for name, date, and other details.

Text block with a header (第四號様式) and a table with columns for name, date, and other details.

程表採用後、本規程、明治四十七年四月一日、之施行、
第五十五條、本規程、明治四十七年四月一日、之施行、
（第三號様式）
御局通信夫（信使）志願書
御局通信夫（信使）志願書、御採用被成下度、然、止、御規則固、
相守、可、申、入、勿、論、私、身、上、關、ス、ル、事、件、ハ、總、テ、身、元、引、受、人、ニ、於、
テ、引、受、可、申、候、別、紙、履、歴、書、相、添、身、元、引、受、人、連、署、此、段、奉、願、候、也、
（第四號様式）
一、學業事
一、何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學
修業シ、何年何月迄至ル所修メ科目何々
一、何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入り何學年ヲ修業シ、何年
何月卒業シ、其ノ證書寫別紙又ハ如何ナル其ノ證書ハ、如何ナル
修業何年何月間ニシテ其科目何々、如何ナル其ノ證書ハ、如何ナル
一、何年何月何地何學校若シ、何地ニ於テ、何々、試驗ヲ受、及、第、一、
其ノ證書若シ、免、許、狀、寫、別、紙、如何ナル如何ナル
一、職、業、事
一、何年何月ヨリ、如何ナル事、業、ニ、就、キ、又ハ、如何ナル事、業、ニ、就、キ、
一、何年何月、如何ナル事、業、ニ、就、キ、又ハ、如何ナル事、業、ニ、就、キ、
一、何年何月、如何ナル事、業、ニ、就、キ、又ハ、如何ナル事、業、ニ、就、キ、
一、何年何月、如何ナル事、業、ニ、就、キ、又ハ、如何ナル事、業、ニ、就、キ、
一、何年何月、如何ナル事、業、ニ、就、キ、又ハ、如何ナル事、業、ニ、就、キ、

従前規程ニ依リ、市功加給、給、與、シ、テ、多、ク、
者、ハ、此、規、程、令、ヲ、用、キ、又、本、規、程、施、行、
月、ヨリ、規、程、令、ニ、二、條、ノ、定、ル、區、別、
リ、右、規、程、令、ニ、依、リ、教、相、當、ス、ル、金、額、
給、與、ス、ル、モ、ト、ス、

（第一號様式）
ノ如シ（辭令全文ヲ掲グヘシ辭令ナキモノハ本文中ニ受賞ノ
事由ヲ記載スヘシ）
一、何年何月何地ニ於テ何々ノ事由ノ爲何々ノ罰ヲ受ケ（辭令ア
ラズニシテ各其ノ全文ヲ掲グ辭令ナキモノハ本文中ニ其ノ事由
ヲ記シ又裁判所ノ宣告書ハ其ノ判決主文ヲ記載スヘシ）
身代限破産家賃分限分ノ有無
一、何年何月何地ニ於テ身代限リノ處分ヲ受ケ何年何月負債ノ辨
濟ヲ爲シ、如何ナル破産若ハ家賃分限ノ宣告ヲ受ケ何年何
月復権シ、如何ナル破産若ハ家賃分限ノ宣告ヲ受ケ何年何
一、身代限又ハ破産若ハ家賃分限ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ
右ノ通達無之候也（第四號様式）
年月日 關東都府郵便電信局長 氏 名
（本規程、第六條ノ三、ハ、右ノ如シ）
（第二號様式）
右身元引受人 氏 名
年月日 關東都府郵便電信局長 氏 名
（第四號様式）
辭令文採用辭令
一、何年何月何日給金何程ヲ給與ス 氏 名
何局勤務ヲ命ス 氏 名
勤務辭令
一、何年何月何日給金何程ヲ給與ス 氏 名
何等通信夫（信使）ヲ命シ日給金何程ヲ給與ス 氏 名
何等通信夫 氏 名
通信夫取締ヲ命（免）ス 氏 名
年月日 局 名
給與辭令ノ一
何等通信夫 氏 名
何等通信夫ヲ命シ日給金何程ヲ給與ス 氏 名
年月日 局 名
給與辭令ノ二
何等通信夫（信使） 氏 名
自今日給金何程ヲ給與ス 氏 名

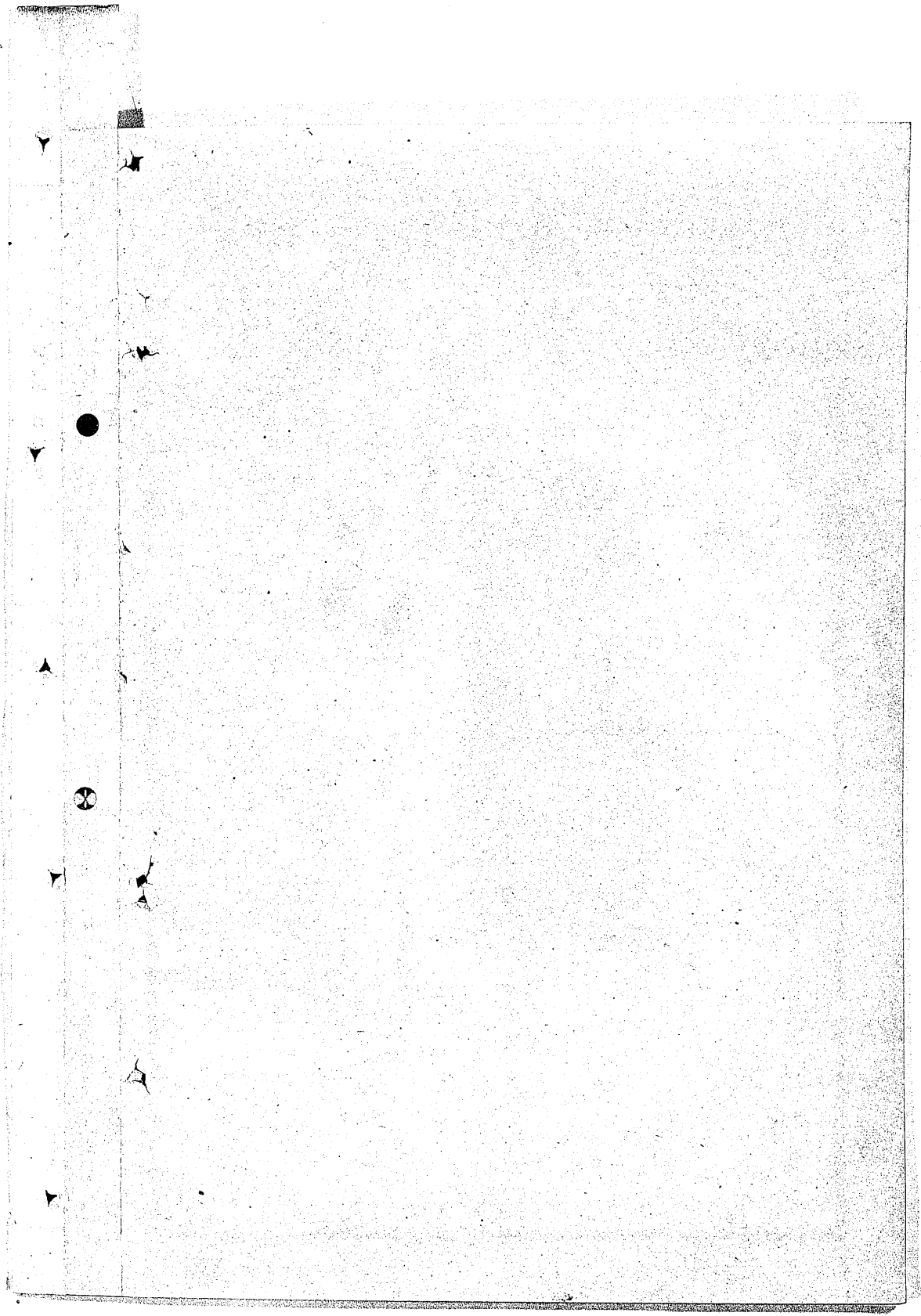
（第一號様式）
右身元引受人 氏 名
年月日 關東都府郵便電信局長 氏 名
（第四號様式）
辭令文採用辭令
一、何年何月何日給金何程ヲ給與ス 氏 名
何局勤務ヲ命ス 氏 名
勤務辭令
一、何年何月何日給金何程ヲ給與ス 氏 名
何等通信夫（信使）ヲ命シ日給金何程ヲ給與ス 氏 名
何等通信夫 氏 名
通信夫取締ヲ命（免）ス 氏 名
年月日 局 名
給與辭令ノ一
何等通信夫 氏 名
何等通信夫ヲ命シ日給金何程ヲ給與ス 氏 名
年月日 局 名
給與辭令ノ二
何等通信夫（信使） 氏 名
自今日給金何程ヲ給與ス 氏 名

（第三號様式）
右身元引受人 氏 名
年月日 關東都府郵便電信局長 氏 名
（第四號様式）
辭令文採用辭令
一、何年何月何日給金何程ヲ給與ス 氏 名
何局勤務ヲ命ス 氏 名
勤務辭令
一、何年何月何日給金何程ヲ給與ス 氏 名
何等通信夫（信使）ヲ命シ日給金何程ヲ給與ス 氏 名
何等通信夫 氏 名
通信夫取締ヲ命（免）ス 氏 名
年月日 局 名
給與辭令ノ一
何等通信夫 氏 名
何等通信夫ヲ命シ日給金何程ヲ給與ス 氏 名
年月日 局 名
給與辭令ノ二
何等通信夫（信使） 氏 名
自今日給金何程ヲ給與ス 氏 名

（第一號様式）
右身元引受人 氏 名
年月日 關東都府郵便電信局長 氏 名
（第四號様式）
辭令文採用辭令
一、何年何月何日給金何程ヲ給與ス 氏 名
何局勤務ヲ命ス 氏 名
勤務辭令
一、何年何月何日給金何程ヲ給與ス 氏 名
何等通信夫（信使）ヲ命シ日給金何程ヲ給與ス 氏 名
何等通信夫 氏 名
通信夫取締ヲ命（免）ス 氏 名
年月日 局 名
給與辭令ノ一
何等通信夫 氏 名
何等通信夫ヲ命シ日給金何程ヲ給與ス 氏 名
年月日 局 名
給與辭令ノ二
何等通信夫（信使） 氏 名
自今日給金何程ヲ給與ス 氏 名

年月日	局	名	事由
平井日	給與辭令ノ三	名	給與辭令ノ三
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	滿何年勤績ニ付(自今)毎月年功加給金何程ヲ給與スルニ關シテ	名	滿何年勤績ニ付(自今)毎月年功加給金何程ヲ給與スルニ關シテ
平井日	給與辭令ノ四	名	給與辭令ノ四
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	金何程	名	金何程
平井日	右服務勳ニ付勤勉加給ヲ給與ス	名	右服務勳ニ付勤勉加給ヲ給與ス
平井日	(本様式ハ辭令書ニ代フルニ辭令簿ヲ以テスルコトヲ得)	名	(本様式ハ辭令書ニ代フルニ辭令簿ヲ以テスルコトヲ得)
平井日	給與辭令ノ五	名	給與辭令ノ五
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	金何程	名	金何程
平井日	右在職中職務勳ニ付慰勞トシテ給與ス	名	右在職中職務勳ニ付慰勞トシテ給與ス
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	依願通信夫(信使)	氏	依願通信夫(信使)
平井日	局	名	局
平井日	事由	名	事由
平井日	給與辭令ノ二	名	給與辭令ノ二
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	滿何年勤績ニ付(自今)毎月年功加給金何程ヲ給與スルニ關シテ	名	滿何年勤績ニ付(自今)毎月年功加給金何程ヲ給與スルニ關シテ
平井日	給與辭令ノ三	名	給與辭令ノ三
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	金何程	名	金何程
平井日	右服務勳ニ付勤勉加給ヲ給與ス	名	右服務勳ニ付勤勉加給ヲ給與ス
平井日	(本様式ハ辭令書ニ代フルニ辭令簿ヲ以テスルコトヲ得)	名	(本様式ハ辭令書ニ代フルニ辭令簿ヲ以テスルコトヲ得)
平井日	給與辭令ノ四	名	給與辭令ノ四
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	金何程	名	金何程
平井日	右在職中職務勳ニ付慰勞トシテ給與ス	名	右在職中職務勳ニ付慰勞トシテ給與ス
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	依願通信夫(信使)	氏	依願通信夫(信使)
平井日	局	名	局
平井日	事由	名	事由
平井日	給與辭令ノ二	名	給與辭令ノ二
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	滿何年勤績ニ付(自今)毎月年功加給金何程ヲ給與スルニ關シテ	名	滿何年勤績ニ付(自今)毎月年功加給金何程ヲ給與スルニ關シテ
平井日	給與辭令ノ三	名	給與辭令ノ三
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	金何程	名	金何程
平井日	右服務勳ニ付勤勉加給ヲ給與ス	名	右服務勳ニ付勤勉加給ヲ給與ス
平井日	(本様式ハ辭令書ニ代フルニ辭令簿ヲ以テスルコトヲ得)	名	(本様式ハ辭令書ニ代フルニ辭令簿ヲ以テスルコトヲ得)
平井日	給與辭令ノ四	名	給與辭令ノ四
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	金何程	名	金何程
平井日	右在職中職務勳ニ付慰勞トシテ給與ス	名	右在職中職務勳ニ付慰勞トシテ給與ス
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	依願通信夫(信使)	氏	依願通信夫(信使)
平井日	局	名	局
平井日	事由	名	事由
平井日	給與辭令ノ二	名	給與辭令ノ二
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	滿何年勤績ニ付(自今)毎月年功加給金何程ヲ給與スルニ關シテ	名	滿何年勤績ニ付(自今)毎月年功加給金何程ヲ給與スルニ關シテ
平井日	給與辭令ノ三	名	給與辭令ノ三
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	金何程	名	金何程
平井日	右服務勳ニ付勤勉加給ヲ給與ス	名	右服務勳ニ付勤勉加給ヲ給與ス
平井日	(本様式ハ辭令書ニ代フルニ辭令簿ヲ以テスルコトヲ得)	名	(本様式ハ辭令書ニ代フルニ辭令簿ヲ以テスルコトヲ得)
平井日	給與辭令ノ四	名	給與辭令ノ四
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	金何程	名	金何程
平井日	右在職中職務勳ニ付慰勞トシテ給與ス	名	右在職中職務勳ニ付慰勞トシテ給與ス
平井日	何等通信夫(信使)	氏	何等通信夫(信使)
平井日	依願通信夫(信使)	氏	依願通信夫(信使)
平井日	局	名	局
平井日	事由	名	事由

6-0010



6-0010



訓令第三十三號
郵便電信局
關東都府郵便電信局通信工夫規程別冊ノ通相定ム
明治四十三年三月三十日 關東都府 子爵大島義昌
附則
本令ハ明治四十三年四月二日ヨリ之ヲ施行ス
(別冊ハ別ニ之ヲ頒ツ)

6-0010



明治四十一年三月訓令第三十三號別冊

關東都督府郵便電信局通信職工通信工夫規程

6-0010

關東都督府郵便電信局通信職工通信工夫規程

目次

- 第一章 通則
- 第二章 採用
- 第三章 等級及給與
- 第四章 使役
- 第五章 服務
- 第六章 成績
- 第七章 休暇、看護、歸省及轉地療養
- 第八章 懲戒
- 附則

第一章 通則
第一條 本規程は、郵便電信局に勤務する通信職工の職務、服務、待遇、懲戒及其他の事項を定むることを目的とする。
第二條 本規程は、本局に勤務する通信職工に適用する。
第三條 本規程は、本局に勤務する通信職工の職務、服務、待遇、懲戒及其他の事項を定むることを目的とする。
第四條 本規程は、本局に勤務する通信職工に適用する。
第五條 本規程は、本局に勤務する通信職工の職務、服務、待遇、懲戒及其他の事項を定むることを目的とする。
第六條 本規程は、本局に勤務する通信職工に適用する。
第七條 本規程は、本局に勤務する通信職工の職務、服務、待遇、懲戒及其他の事項を定むることを目的とする。
第八條 本規程は、本局に勤務する通信職工に適用する。
第九條 本規程は、本局に勤務する通信職工の職務、服務、待遇、懲戒及其他の事項を定むることを目的とする。
第十條 本規程は、本局に勤務する通信職工に適用する。

6-0010

第十四條 職工、工夫ノ等級及給料ハ左ノ如シ但シ清人ニハ各
 項其ノ受取ルキ給料額ニ依リテ等級ヲ定ム臨時僱用ノ補充僱夫
 臨時補充僱夫ノ給料額ニ關シ員ノ總務本局規程ニ準ズ其ノ給料ハ
 職工等ニ準ジ給付給金ニ圓五斗錢以下工夫ニ在リテハ日給金
 三圓二斗錢以下ニ限リ之ヲ定ム但シ本局規程ニ對シ東洋通運
 船員等則チ別定メル

第十五條 職工、工夫ノ等級及給料ハ左ノ如シ但シ清人ニハ各
 項其ノ受取ルキ給料額ニ依リテ等級ヲ定ム臨時僱用ノ補充僱夫
 臨時補充僱夫ノ給料額ニ關シ員ノ總務本局規程ニ準ズ其ノ給料ハ
 職工等ニ準ジ給付給金ニ圓五斗錢以下工夫ニ在リテハ日給金
 三圓二斗錢以下ニ限リ之ヲ定ム但シ本局規程ニ對シ東洋通運
 船員等則チ別定メル

第十七條 職工、工夫ノ等級及給料ハ左ノ如シ但シ清人ニハ各
 項其ノ受取ルキ給料額ニ依リテ等級ヲ定ム臨時僱用ノ補充僱夫
 臨時補充僱夫ノ給料額ニ關シ員ノ總務本局規程ニ準ズ其ノ給料ハ
 職工等ニ準ジ給付給金ニ圓五斗錢以下工夫ニ在リテハ日給金
 三圓二斗錢以下ニ限リ之ヲ定ム但シ本局規程ニ對シ東洋通運
 船員等則チ別定メル

第十八條 職工、工夫ノ等級及給料ハ左ノ如シ但シ清人ニハ各
 項其ノ受取ルキ給料額ニ依リテ等級ヲ定ム臨時僱用ノ補充僱夫
 臨時補充僱夫ノ給料額ニ關シ員ノ總務本局規程ニ準ズ其ノ給料ハ
 職工等ニ準ジ給付給金ニ圓五斗錢以下工夫ニ在リテハ日給金
 三圓二斗錢以下ニ限リ之ヲ定ム但シ本局規程ニ對シ東洋通運
 船員等則チ別定メル

第十九條 職工、工夫ノ等級及給料ハ左ノ如シ但シ清人ニハ各
 項其ノ受取ルキ給料額ニ依リテ等級ヲ定ム臨時僱用ノ補充僱夫
 臨時補充僱夫ノ給料額ニ關シ員ノ總務本局規程ニ準ズ其ノ給料ハ
 職工等ニ準ジ給付給金ニ圓五斗錢以下工夫ニ在リテハ日給金
 三圓二斗錢以下ニ限リ之ヲ定ム但シ本局規程ニ對シ東洋通運
 船員等則チ別定メル

第二十條 職工、工夫ノ等級及給料ハ左ノ如シ但シ清人ニハ各
 項其ノ受取ルキ給料額ニ依リテ等級ヲ定ム臨時僱用ノ補充僱夫
 臨時補充僱夫ノ給料額ニ關シ員ノ總務本局規程ニ準ズ其ノ給料ハ
 職工等ニ準ジ給付給金ニ圓五斗錢以下工夫ニ在リテハ日給金
 三圓二斗錢以下ニ限リ之ヲ定ム但シ本局規程ニ對シ東洋通運
 船員等則チ別定メル

第二十一條 職工、工夫ノ等級及給料ハ左ノ如シ但シ清人ニハ各
 項其ノ受取ルキ給料額ニ依リテ等級ヲ定ム臨時僱用ノ補充僱夫
 臨時補充僱夫ノ給料額ニ關シ員ノ總務本局規程ニ準ズ其ノ給料ハ
 職工等ニ準ジ給付給金ニ圓五斗錢以下工夫ニ在リテハ日給金
 三圓二斗錢以下ニ限リ之ヲ定ム但シ本局規程ニ對シ東洋通運
 船員等則チ別定メル

第二十二條 職工、工夫ノ等級及給料ハ左ノ如シ但シ清人ニハ各
 項其ノ受取ルキ給料額ニ依リテ等級ヲ定ム臨時僱用ノ補充僱夫
 臨時補充僱夫ノ給料額ニ關シ員ノ總務本局規程ニ準ズ其ノ給料ハ
 職工等ニ準ジ給付給金ニ圓五斗錢以下工夫ニ在リテハ日給金
 三圓二斗錢以下ニ限リ之ヲ定ム但シ本局規程ニ對シ東洋通運
 船員等則チ別定メル

給與ス
第三十條 職工、工夫ニシテ電信電話線路ノ建設保守又ハ同機械ノ設置修繕等ノ爲出張シタルトキハ旅費ヲ支給セス左ノ區別ニ從テ出張手當ヲ給與シテ
一 出張手當 一日ニ付 金二十五錢
二 外勤手當 一日ニ付 金二十五錢
三 乗車手當 一日ニ付 金二十五錢
但シ汽車又ハ汽船ニ等級アルモノシテ各其ノ三等ノスニテ但シ汽車又ハ汽船ニ等級アルモノシテ各其ノ三等ノスニテ
第三十一條 職工、工夫出張先ニ於テ休業シタルトキハ第十六條但シ書ニ因ルモノ外ハ出張手當ヲ給與ス
第三十二條 前條ノ出張手當陸路四里未満汽車半哩未満水路十海里未満ノ出張ニシテ當日歸著スル場合ニハ之ヲ支給セス又乗車手當ノ就業地ニ急行ヲ命ジテ汽車汽船又ハ舟車馬賃ノ仕拂ヲ要スルトキハ限リ給與ス
第三十三條 職工、工夫ニハ左ノ場合ニ限リ定期ノ旅費ヲ支給ス但シ此ノ場合ハ出張手當ニ之ヲ支給セズ
一 本居替ヲ命ジタルトキ
二 出張先ニ於テ疾病ニ罹リ急速治療ヲ見込テ本居地ニ歸還ヲ命ジタルトキ
三 出張先ニ於テ廢職ニ死シ又ハ論旨解僱シタルトキ
四 管轄區外ニ出張ヲ命ジタルトキ但シ區内出張中其ノ出張ノ用務ニ關シ隣接區外地ニ旅行ヲ命ジタル場合ニ於テハ區外旅行ヲ除ク
第三十四條 職工、工夫ニハ其ノ勤務地ノ狀況ニ依リ一日金三

十錢以内ノ勤務地加給ヲ給與シテ
第三十五條 勤務地加給ノ給與ヲ受クル者其ノ月賦勤シタルトキハ當該月ノ勤務地加給ニ之ヲ支給セス但シ第十六條但書ノ場合ニ於テハ之ヲ通算セス
第三十六條 勤務地加給ハ其ノ當該月ノ勤勞ノ分ヲ支給ス但シ前日迄又勤務地加給地域外ヨリ同加給地域内ニ轉シタル場合ハ到着ノ日ヨリ日割計算ヲ以テ之ヲ支給ス新ニ採用ノ場合亦同シ
勤務地加給地域内ニ在リテ給與額ヲ異ニスル地域内ニ轉シタル場合亦前項ノ例ニ依リ之ヲ計算ス
第三十七條 前各條ニ依ル支給期間及支給期日ハ左ノ區別ニ依ル但シ左記各號以外ノ手當實際ノ狀況ニ應ジ適宜ニ之ヲ支給スルコトヲ得
一 給與料 前月二十一日ヨリ當月二十一日迄ヲ區切リ當月末日迄ニ支給ス但シ三月三限リ其ノ月二十一日以後ノ分ハ同日ヨリ同月末日迄ヲ區切リ別ニ支給ス
一 年功加給
二 勤務地加給 當月分ヲ翌月十日迄ニ支給ス
三 勤勉加給
四 出張手當 第二十九條ニ依ル手當 給料ニ同シ
三 在職勤勞手當 退職又ハ死亡後二十日以内ニ支給ス
第四章 使 役
第三十八條 職工、工夫ノ勤務時間及服務方法ハ郵便電信局長別ニ之ヲ定ム

第三十九條 職工、工夫ノ缺員又ハ缺員又ハ補缺者ノ補充ヲ要スル時若ハ臨時工事ノ爲定員ヲ以テ處理シ難キトキハ補充僱夫ヲ使役スルコトヲ得
第四十條 職工、工夫ニハ必要ニ依リ交互其ノ職務ヲ兼テ又ハ通信夫若ハ其ノ他ノ僱夫ノ職務ヲ兼テシムルコトヲ得
第四十一條 職工、工夫ハ所屬技術官ノ指揮ヲ受ケ各其ノ職務ニ従事ス若所屬技術官不在ニ際シ所在局員ヨリ指揮ヲ受ケタルトキハ之ニ從テヘシ
第四十二條 職工、工夫ハ所屬技術官ノ許可ナクテ擅ニ職務ヲ離レ又ハ他田ヲ分ラズ
第四十三條 職工、工夫ハ職務ニ關スル事項ハ何事ニ依ラヌ故ニ於テ他人ニ報告スルコトヲ得
第四十四條 職工、工夫ハ更員ノ對シテハ恭順同僚ニ對シテハ親睦ナルベキハ勿論何人ニ對シテモ粗暴又ハ威權ヲ用敷振舞ヒ爲シ或ハ紀ヲ紊シ若ハ衛生ヲ輕視スル如キ行爲アルベキ者ニシテハ之ヲ免職ス
第四十五條 職工、工夫ハ風紀衛生ニ關シテ所屬技術官ノ外尙本居地郵便局長ノ指揮ヲ受ケヘシ
第四十六條 職工、工夫及其ノ家族ハ郵便電信局長ノ許可ヲ受ケルニ非サレバ商業ヲ營ムコトヲ得ズ
第四十七條 職工、工夫ハ郵便電信局長又ハ郵便局長指定スル場所ニ居住スヘシ但シ止テ得ズル事情ニ依リ指定ノ場所以外ニ居住セシムルコトヲ許可シ得ルハ之ヲ規定ス
第四十八條 職工、工夫ハ職務上ノ所要物品ハ正確ニ之ヲ保管シ若シ失失或ハ毀損シタルトキハ速ニ所屬技術官ニ報告スヘシ

前項ノ遺失毀損ニシテ該職工又ハ該職員ノ出タルモノナルトキハ相當處罰ヲ受ケルコトヲ得
第四十九條 職工、工夫ハ勤務時間外ニ雖天災其ノ他非常災害ノ場合ニ於テ速ニ現場ニ歸付線路機械物品等ノ保護ニ従事スルコトヲ得
第五十條 職工、工夫ハ所屬技術官ノ許可ナクテ擅ニ職務ヲ離レ又ハ他田ヲ分ラズ
第五十一條 職工、工夫ハ職務ニ關スル事項ハ何事ニ依ラヌ故ニ於テ他人ニ報告スルコトヲ得
第五十二條 職工、工夫ハ所屬技術官ノ許可ヲ受ケテ宿直勤務セシム
第五十三條 職工、工夫ニシテ三箇年間引續キ精勤シ成績良好者ニシテハ其ノ精勤ヲ表彰スル爲精勤證書ヲ發給ス
第五十四條 前條ノ精勤證書ヲ受ケタル者ハ其ノ精勤シテハ左記各號ノ一ニ該證書ヲ附シテ之ヲ返納セシムルコトヲ得
第五十五條 精勤證書ハ三箇年毎ニ之ヲ附與ス
第五十六條 精勤證書ヲ附與シタルモノハ左記各號ノ一ニ該證書ヲ附シテ之ヲ返納セシムルコトヲ得
但シ此ノ場合ニ於テハ微章モ亦之ヲ返納セシム

6-0010

三、所屬技術官指揮... 第五十七條 天災... 第五十八條 職工... 第六十三條 職工... 第六十四條 職工... 第六十五條 職工... 第六十六條 職工... 第六十七條 職工... 第六十八條 職工... 第六十九條 職工... 第七十條 職工... 第七十一條 職工... 第七十二條 職工... 第七十三條 職工... 第七十四條 職工... 第七十五條 職工... 第七十六條 職工... 第七十七條 職工... 第七十八條 職工... 第七十九條 職工... 第八十條 職工...

則固ク相守... 卒日... 職... 住所ノ移轉... 學事... 職... 賞罰... 第七

規程、
除、
規程、
規程、
規程、
規程、
規程、

6-0010

身代限、破産、家資分散處分の有無
 一何年何月何地ニ於テ身代限ノ處分ヲ受ケ何年何月負債ノ辨濟ヲ爲シタルコト又ハ破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ何年何月復権シタルコト
 一身代限又ハ破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ
 右ノ通相違無之候也
 年月日
 右 氏 名

(第三號様式)

身元引受證書
 原籍
 現住所
 族籍
 職名
 生年月日
 今般右ノ者ニ對スル身元引受人ニ相立候ニ付テハ同人身上ニ關スル一切ノ責務ヲ拙者ニ於テ引受御局ニ何等御迷惑相掛申間敷仍テ證書差上候也
 年月日
 原籍
 現住所
 族籍
 右身元引受人 氏 名
 關東都府郵便電信局長宛

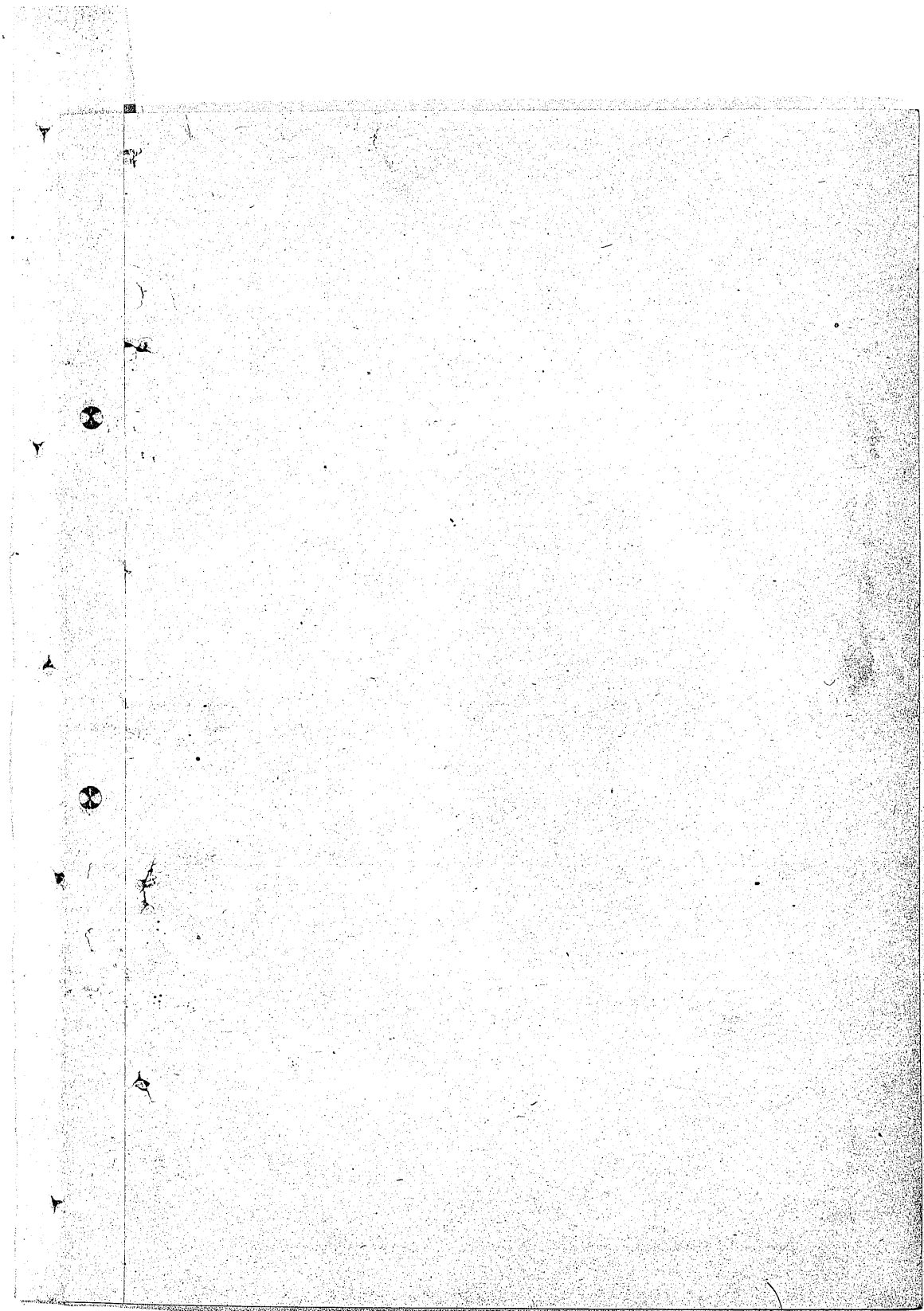
(第四號様式)
 辭令 文
 採用 辭令
 何等通信職工(通信工夫)ヲ命シ日給金何程ヲ給與ス何々(地名ヲ記ス)本居ヲ命ス
 年月日
 關東都府郵便電信局(以下同シ)
 給與辭令
 等級職名 氏 名
 自今日給金何程ヲ給與ス
 何等通信職工(通信工夫)ヲ命シ日給金何程ヲ給與ス何々(地名ヲ記ス)本居ヲ命ス
 年月日
 給與辭令ノ二
 等級職名 氏 名
 滿何年勤續ニ付(自今)毎月年功加給金何程ヲ給與ス
 年月日
 給與辭令ノ三
 等級職名 氏 名
 右服務勉勵ニ付勤勉加給トシテ給與ス
 年月日
 (本様式ハ辭令書ニ代フルニ辭令簿ヲ以テスルコトヲ得)

給與辭令ノ四

元等級職名 氏 名
 金何程
 右在職中職務勉勵ニ付慰勞トシテ給與ス
 年月日
 局 名
 罷免辭令
 等級職名 氏 名
 依願通信職工(通信工夫)ヲ免ス
 年月日
 局 名

(第五號様式)

精勤證書
 職名 氏 名
 職務勉勵且成績良好ニ付其ノ精勤ヲ表彰スル爲精勤章ヲ附與ス
 年月日
 局長 名



6-0010



訓令第三十五號
 郵便電信局
 明治四十二年三月二十三日
 關東都督 子爵大島義昌
 明治四十二年三月二十三日
 關東都督 子爵大島義昌
 明治四十二年三月二十三日
 關東都督 子爵大島義昌
 明治四十二年三月二十三日
 關東都督 子爵大島義昌

訓令第三十四號
 郵便電信局
 明治四十二年三月二十三日
 關東都督 子爵大島義昌
 明治四十二年三月二十三日
 關東都督 子爵大島義昌
 明治四十二年三月二十三日
 關東都督 子爵大島義昌

訓令第三十六號

明治四十一年度外務省所管關東都督府特別會計歲入歲出科目
別冊六通相定
明治四十一年三月二十五日 關東都督 子爵大島義昌
(別冊六別二之ヲ願之)

民 政 部
民 政 署
警 務 署
法 院
郵 使 電 信 局
附 屬 民 政 各 官 廳

訓令第三十七號

明治四十一年四月訓令第二十九號旅順及大連水道事務所規程中左ノ
通改正
明治四十一年三月二十一日 關東都督 子爵大島義昌
第一條 第三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ三號以下順次繰下ク
三 水道所屬ノ收入支出ニ關スル事項
附 則
本令 明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

民 政 部
民 政 署

訓令第三十八號
 郵政 民部 署
 明治四十年四月訓令第三十八號 旅順電氣作業所規程申左ノ通改正ス
 明治四十年三月三十日 關東都督 子爵大島義昌
 第一條 第三號ノ次ニ左ノ三號ヲ加シ三號以下順次繰下ス
 十三電燈所屬ノ收入支出ニ關スル事項
 附則
 本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

訓令第三十九號
 郵便電信局
 通信工手制服貸與規程左ノ通相定ム
 明治四十二年四月一日 關東都督 子爵大島義昌
 通信工手制服貸與規程
 第一條 通信工手ニハ制服ヲ貸與ス
 第二條 貸與スヘキ制服ノ種類ハ左ノ如シ
 帽
 帽日覆
 冬服
 夏服
 外套
 防寒外套
 第三條 制服、制服員數、保存期限、着用期間及此ノ取扱ニ關
 シテハ明治三十九年十月二訓令第六十八號中鐵道郵便係員ノ制
 服ニ關スル規定ヲ準用ス但前章及鈕釦ハ金色トシ襟章ハ「工」
 ノ文字トシ胸章ヲ附セス
 附則
 本令ハ明治四十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

訓令第四十號
 警察廳
 警務署
 請願巡査取扱規程左ノ通相定ム
 明治四十一年四月二日
 關東都督 子爵大島義昌

請願巡査取扱規程
 第一條 巡査ノ配置請願書ヲ受理セントキハ巡査請願配置規則
 第一條ノ事項ヲ具備セルヤ否及實地ノ調査ヲ逐ク且ツ出願者
 ノ身分、性及資産額ヲ取調ベ意見ヲ具シ速クニ進達スヘシ
 第二條 民政署長同支署長警務署長同支署長公其ノ所轄内ニ請
 願巡査配置ノ許可ヲ受ケタケモノアリテ別ニ巡査ノ派遣ナキ
 トキハ其ノ警定員内ノ巡査ヲ以テ配置スヘシ
 第三條 請願巡査ノ勤務ハ一般巡査ノ勤務規程ニ準ス

告示第三十號
 大連測候所構内測候圖面ノ位置ニ正式暴風警報信號標ヲ設置シ
 明治四十一年四月二十日ヨリ之ヲ施行ス
 關東都督 子爵大島義昌
 明治四十一年三月三十日

大連
 北緯 三十八度五十六分
 東經 一百三十二度三十六分

6-0010



告示第三十二號
明治四十年八月告示第五十八號警察官者渡切經費細目中新炭油
次ニ等筆墨印肉類ヲ加テ
明治四十一年三月二十五日 關東都督 子爵大島義昌

告示第三十二號
明治四十年五月告示第三十七號第一項ノ但書ヲ削リ明治四十一年
四月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十一年三月三十一日 關東都督 子爵大島義昌

6-0010



告示第三十三號
明治四十三年庚辰願巡査費六千圓金五百四拾圓
明治四十三年四月一日
關東都督 子爵大島義昌

6-0010

明治四十一年三月府令第十五號別表及書式ハ左ノ如シ
(別表)

科目	教授ノ程度及毎週教授時數表		年	月	日
	第一學年	第二學年			
修身	第一學年 全	第二學年 全	三	全	全
日本語	第一學年 全	第二學年 全	三	全	全
漢文	第一學年 全	第二學年 全	三	全	全
算術	第一學年 全	第二學年 全	三	全	全
圖畫	第一學年 全	第二學年 全	三	全	全
唱歌	第一學年 全	第二學年 全	三	全	全
體操	第一學年 全	第二學年 全	三	全	全
裁縫	第一學年 全	第二學年 全	三	全	全
手工	第一學年 全	第二學年 全	三	全	全
農業	第一學年 全	第二學年 全	三	全	全
商業	第一學年 全	第二學年 全	三	全	全

第三號書式
修業證書

公學堂第何學年ノ課程ヲ修業セシコトヲ證ス
明治 年 月 日
何々公學堂

第三號書式
卒業證書

公學堂ノ教科ヲ卒業セシコトヲ證ス
明治 年 月 日
何々公學堂長何某團

6-0010

第三號書式

氏名	生年 月日	住 所	族 籍	入 學 前 月 日	入 學 年 月 日	卒 業 年 月 日	退 學 年 月 日	退 學 ノ 理 由	業 績		保 護 者						
									成 績	修 業 日 數	保 護 者 氏 名	住 所	族 籍	職 業	兒 童 之 係 屬		
第 一 學 年	第 二 學 年	第 三 學 年	第 四 學 年	第 五 學 年	第 六 學 年	第 一 學 年	第 二 學 年	第 三 學 年	第 四 學 年	第 五 學 年	第 六 學 年	第 一 學 年	第 二 學 年	第 三 學 年	第 四 學 年	第 五 學 年	第 六 學 年

第四號書式

備考 身體ノ狀況ノ欄ニ當分ノ間之ヲ闕クコトヲ得

明治 年 月 分

氏 名	學 年	修 業 日 數	身 體 狀 況	備 考	學 堂 第 年 學 生 徒 出 席 簿 受 持						
					出 席 日 數	出 席 率					
第 一 學 年	第 二 學 年	第 三 學 年	第 四 學 年	第 五 學 年	第 六 學 年	第 一 學 年	第 二 學 年	第 三 學 年	第 四 學 年	第 五 學 年	第 六 學 年

6-0010

記號例
 △出席
 ○出席
 ◎病氣
 △事故
 △出席

日数		教授		計	出席		欠席		休席		病欠		事故		その他	
					席数	数	席数	数	席数	数	席数	数	席数	数		
退學生徒数		入學生徒数														
生徒数		月末在籍														
生徒数		皆出席														
席生徒数		日平均														
席生徒数		日平均														

6-0010

豫算

明治四十一年度關東州地方費收入支出豫算左ノ通相定ス
明治四十一年三月三十一日 關東都督 子爵大島義昌

收入經常部

第一款 地方收入 金六拾六萬八千八百拾壹圓

第一款 地租 金貳拾六萬七千七百拾四圓

第二款 雜項收入 金六萬五千五百拾參圓

第三款 歲入經常部計金六拾六萬八千八百拾壹圓

收入臨時部計金六拾六萬八千八百拾壹圓

第一款 物品拂下代 金五千四百拾八圓

第二款 物品拂下代 金五千四百拾八圓

第一款 國庫補助金 金拾五萬圓

第二款 國庫補助金 金拾五萬圓

收入臨時部計金拾五萬五千四百拾八圓

收入總計金八拾貳萬四千貳百貳拾九圓

支出經常部

第一款 地方費 金五拾四萬四千七百拾壹圓

第二款 會村事務費 金千六百九拾貳圓

第三款 勸業費 金九萬貳千貳拾參圓

第四項 衛生費 金拾六萬七千參百五拾參圓

第五項 公共費 金六千八百五圓

第六項 公園費 金七千拾五圓

第七項 教育所費 金參千九百六拾五圓

第八項 消防諸費 金壹萬五百壹圓

第九項 電氣作業所費 金七萬四千六百四拾七圓

第七項 水道維持費 金拾貳萬參千七百拾壹圓

第八項 地方費取扱費 金壹萬貳千參百四拾五圓

第二款 諸支出 金六百七拾五圓

第三款 巡査給助 金四百貳拾五圓

第四項 死傷手当 金百圓

第五項 諸拂戻及 金百圓

第六項 缺損補填金 金百圓

第七項 賠償及訴訟費 金五拾圓

第八項 豫備費 金貳萬圓

第九項 豫備費 金貳萬圓

經常部計金五拾六萬四千八百四拾六圓

支出臨時部

第一款 營繕及土木費 金貳拾四萬九千參百八拾參圓

第二款 監督諸費 金九千四百八拾圓

第三款 新營及修繕費 金拾五萬四千四百拾四圓

第四項 土木費 金八萬五千四百八拾九圓

第一款 補助費 金壹萬圓

第二款 水産組合補助 金五千圓

第三款 赤十字病院補助 金五千圓

臨時部計金貳拾五萬九千參百八拾參圓

支出總計金八拾貳萬四千貳百貳拾九圓

府令第十四號
 關東都督府巡查看守在勤手當支給規則申左ノ通改正ス
 明治四十一年三月三十日 關東都督 子爵大島義昌
 第六條ヲ削除シ第七條ヲ第六條ニ改メ別表ヲ左ノ通り改正ス

關東都督府巡查看守在勤手當月額

職名	關東州内	關東州外	教習中
巡查	十五圓	十八圓	八圓
看守	十五圓	十八圓	八圓

附則
 本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

6-0010



報
告
書

號
年
月
日

明治四十一年三月訓令第二十六號様式

6-0010



6-0010

考 備		報 年																																					
考	備	第八十二表 民事事件數種類別																																					
		總計	雜	證	物	米	金	船	建	土	人	種																											
													事	券	品	穀	錢	船	物	地	事																		
吳	備	計	事	券	品	穀	錢	船	物	地	事	新	受	件	數	判	夾	件	數	清	國	人	數	外	國	人	數	內	國	人	數	未	濟	計					
												受	新	受	計		棄	却	全		部	更	部		取	下	和		約	其	他		計	取	調	中	停	止	計
												受	新	受	計		棄	却	全		部	更	部		取	下	和		約	其	他		計	取	調	中	停	止	計

6-0010

報年		第八十四表 民事事件數金額別										報年	
種別	金額	見積額	合計	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	種別	金額
未十滿圓												内地人間	
未五十滿圓												清國人間	
未百滿圓												外國人間	
未五百滿圓												内地人間	
未千滿圓												清國人間	
未五千滿圓												外國人間	
未六千滿圓												内地人間	
未七千滿圓												清國人間	
未八千滿圓												外國人間	
未九千滿圓												内地人間	
未一萬圓												清國人間	
未一萬五千圓												外國人間	
未二萬圓												内地人間	
以上												清國人間	
計												外國人間	
總額												計	

報年		考備	總計	罪名			總計	種別			種目	受		既		未		被	告	人
何々	ル			静	達	輕		重	受	理		既	未	有罪	無罪	有罪	無罪			
八十四	五	因

第八十五表

刑事事件數

明治 年

報年		考備	總計	死懲罰			總計	管拘科			總計	處分區別		
何々	ル		
八十四	五	因	

第八十六表

刑事處刑人員處分區別

明治 年

6-0010

報 年					報 年				
第八十八表 民 刑 事 件 數					第八十七表 罰 金 科 料 徵 收 結 果				
種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	總 計	備 考	備 考	備 考	備 考
懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒					
罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金					
監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁					
有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑					
無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑					
死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑					
未 決	未 決	未 決	未 決	未 決					
未 納	未 納	未 納	未 納	未 納					

報 年											報 年										
第八十八表 民 刑 事 件 數											第八十七表 罰 金 科 料 徵 收 結 果										
種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	種 別	
																					種 別
懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒	懲 戒
罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金	罰 金
監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁	監 禁
有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑	有 期 徒 刑
無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑	無 期 徒 刑
死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑	死 刑
未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決	未 決
未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納	未 納

6-0010

6-0010

考 備		總計	雜 證 物 米 金 船 建 土 人					種 別	受 審 受 新 受 計 理	既 調 不 調 取 下 其 他 計	未 濟	新 受 件 數		申 立 人 內 地 人 清 國 人 外 國 人	申 立 人 內 地 人 清 國 人 外 國 人
考	備		事	券	品	穀	錢					船	物		
第八十九表 勸 解 件 數															
明治 年															
(Empty rows for data entry)															

考 備	總計	務 檢					刑 法 犯	刑 法 犯	種 別	受 審 受 新 受 計 理	既 調 不 調 取 下 其 他 計	未 濟
		合 計	雜 事	共 助	諸 規 則 違 犯	匪 賊						
第六十八表 通 限 事 實 簿												
(Empty rows for data entry)												

6-0010

考 備		報 年						種 別	
		總 計	雜 證 物 米 金 船 建 土 人	事 券 品 穀 錢 船 物 地 事					
民事事件數種類別 地部	原告 被告 原告 被告 原告 被告 原告 被告 原告 被告 原告 被告							新 受 件 數	受 理
								内 國 人	既 決
								内 地 判 決	取 下 和 解
								内 人 勝 敗	其 他 結 果
								内 人 勝 敗	計
								内 人 勝 敗	取 調 中 停 止
								内 人 勝 敗	計
								内 人 勝 敗	未 濟
								内 人 勝 敗	計
								内 人 勝 敗	未 濟
								内 人 勝 敗	計
								内 人 勝 敗	未 濟

報年		第九十一表 民事事件數種別及訴訟區別						
考	備	總計	雜	證	物	米	金	種
								內地人 訴訟
								清國人 訴訟
								外國人 訴訟
								內地人 清國人 訴訟
								內地人 外國人 訴訟
								清國人 外國人 訴訟
								合計

明治 年

報年		第九十二表 民事事件數金額別												
考	備	總計	見積	金額	種	別	種							
								未十	未五十	未百	未五百	未千	未五千	未六千
							新受件數ノ金額及見積價額階級計							
							總額							

明治 年

6-0010

報年

第九十三表

刑事事件數

明治
年

考 備	總 計	名 罪 何々 ル罪 害ス	總 計	種 別			種 目
				遠 警 罪	輕 罪	重 罪	
...							受 新 受 計
...							既 有 罪 無 罪 消 滅 其 他
...							濟 計
...							未 濟
...							新 受 件 數 ノ 内 計

報年

第九十四表

刑事處刑人員處分區別

明治
年

考 備	總 計	科 拘 管 罰 懲 死 料 留 刑 金 役 刑	處 分 區 分	刑 罰		
				內 地 人	清 國 人	外 國 人
...						
...						
...						
...						
...						

報年		第九十五表									
考備	總計	民事			刑事			其他			種別
		合	其他ノ事件	共助事件	合	其他ノ事件	共助事件	合	其他ノ事件	共助事件	
											受審
											新受審
											計理
											既受
											計理
											既濟
											未濟
											新受事件數ノ内
											内地人 清國人 外國人
											計員

第九十五表 雜事件數 明治 年

報年		第九十六表									
考備	總計	民事			刑事			其他			種別
		合	其他ノ事件	共助事件	合	其他ノ事件	共助事件	合	其他ノ事件	共助事件	
											受審
											新受審
											計理
											既受
											計理
											既濟
											未濟
											新受事件數ノ内
											内地人 清國人 外國人
											計員

第九十六表 檢察事件數(一) 明治 年

6-0010

報年

第九十七表 罰金科料徴收結果

考備	總計	外	清	内	種別	總額	既	未
							收	
人	人	人	人	人	人	人	人	人

明治 年

報年

第九十八表 執達件數

考備	總計	送達	執成	拒證	其他	種別	受	計	既	未	濟
							受				

明治 年

報年

第九十九表 郵便電信局所

考備	總計	大	旅	何	地方別	郵便電信局	郵便局	電信局	郵便局出張所	何々	郵便下切手	郵便函	私書函
						順	連	々	々	々			

明治 年度末日現在

報年

第一百表 郵便線路及遞送用具

考備	總計	州	關	區	分	郵便線路實里	同上	遞送用具
						普通	輕便	
外	内	内	内	内	内	人	車馬車船	船

明治 年度末日現在

一 通常道路ハ内地ノ里程ニ依リ掲載スヘシ

6-0010

報年				報年				報年				報年																																																		
考備	總計			局	種別	書狀	引	見本	受配	通	送	考備	總計			局	種別	書狀	引	見本	受配	通	送	考備	總計			局	種別	書狀	引	見本	受配	通	送																											
	外	内	計										外	内	計										外	内	計									外	内	計	外	内	計	外	内	計	外	内	計	外	内	計	外	内	計	外	内	計	外	内	計	外	内	計
	國	國	國										國	國	國										國	國	國									國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國
第百四表 内外通常郵便物月別				第百三表 内外通常郵便物局別				第百二表 郵便物及電報				第百一表 郵便電信局員																																																		
明治 年度				明治 年度				明治 年度				明治 年度末日現在																																																		

報年																				
考備	配引	種	別	達受		簡	價	額	表	記										
				外	内						計	國	國	國	國	代	金	引	換	
																				第百八表

報年																									
考備	總計	何	何	局	達受		有	引	料	無															
					外	内					計	國	國	國	國	國	留	價	格	表	記	代	金	引	換

6-0010



報年													報年																																
考備	總計	十一月	十二月	一月	次	郵便取立金月別				口受 數	金 入 額	口拂 數	金 出 額	明治 年度	考備	總計	何々	何々	局別	郵便取立金局別				口受 數	金 入 額	口拂 數	金 出 額	明治 年度																	
						第百十二表														第百十一表																									
						其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地											其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地						其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計
前年度ヨリ越高及本年度分	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中																					
考備	總計	外内	計	種別	内外國不能還付小包郵便物				個數	内	個數	外	個數	明治 年度	考備	總計	外内	計	種別	内外國不能還付通常郵便物				個數	内	個數	外	個數	明治 年度																
					第百九表															第百十表																									
					其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地												其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地							其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地	其滿洲計	其滿洲各他地
前年度ヨリ越高及本年度分	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中	還付シ得シモノ	上	還付シ得サルモノ	中																	

報年		報年									
考備	總計	十二月	十一月	考備	總計	何々	何々				
								郵便貯金月別		郵便貯金局別	
								次	次	局	局
	現拂預 在戻入	現拂預 在戻入	現拂預 在戻入		現拂預 在戻入	現拂預 在戻入	現拂預 在戻入				
	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數				
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額				
	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數				
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額				
	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數				
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額				
	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數				
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額				
	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數				
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額				

一 表中總計ノ現在ニハ年度末日ノ現在數ヲ掲クヘシ

一 表中現在ノ項ニハ年度末日ノ現在數ヲ掲クヘシ

報年		報年									
考備	總計	十二月	十一月	考備	總計	何々	何々				
								郵便爲替月別		郵便爲替局別	
								次	次	局	局
	其滿内 計 各他地地	其滿内 計 各他地地	其滿内 計 各他地地		其滿内 計 各他地地	其滿内 計 各他地地	其滿内 計 各他地地				
	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數				
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額				
	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數				
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額				
	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數				
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額				
	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數				
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額				
	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數				
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額				

6-0010

報年										報年											
考備		總計	關東州外	關東州內	區分	架線		電線		地下線		空中線		報告		電報		電話		延長	
第百二十表		電話線路及線條				架線		電線		地下線		空中線		報告		電報		電話		延長	
明治		年度末日現在				架線		電線		地下線		空中線		報告		電報		電話		延長	
第百十九表		總計	十一月	十二月	一月	次		次		次		次		次		次		次		次	
第百十九表		內外國發著電報月別				官報通數		私報通數		合計		合計		合計		合計		合計		合計	
明治		年度				官報通數		私報通數		合計		合計		合計		合計		合計		合計	
第百十八表		總計	何々	何々	局	發		發		發		發		發		發		發		發	
第百十八表		內外國發著電報局別				官報通數		私報通數		合計		合計		合計		合計		合計		合計	
明治		年度				官報通數		私報通數		合計		合計		合計		合計		合計		合計	
第百十七表		總計	海河陸	區分	線		路		長		線		條		延		長		現		
第百十七表		電信線路及線條				線		路		長		線		條		延		長		現	
明治		年度末日現在				線		路		長		線		條		延		長		現	

報年

第百二十二表

電話加入者及料金

明治

年度

金

局

加

入

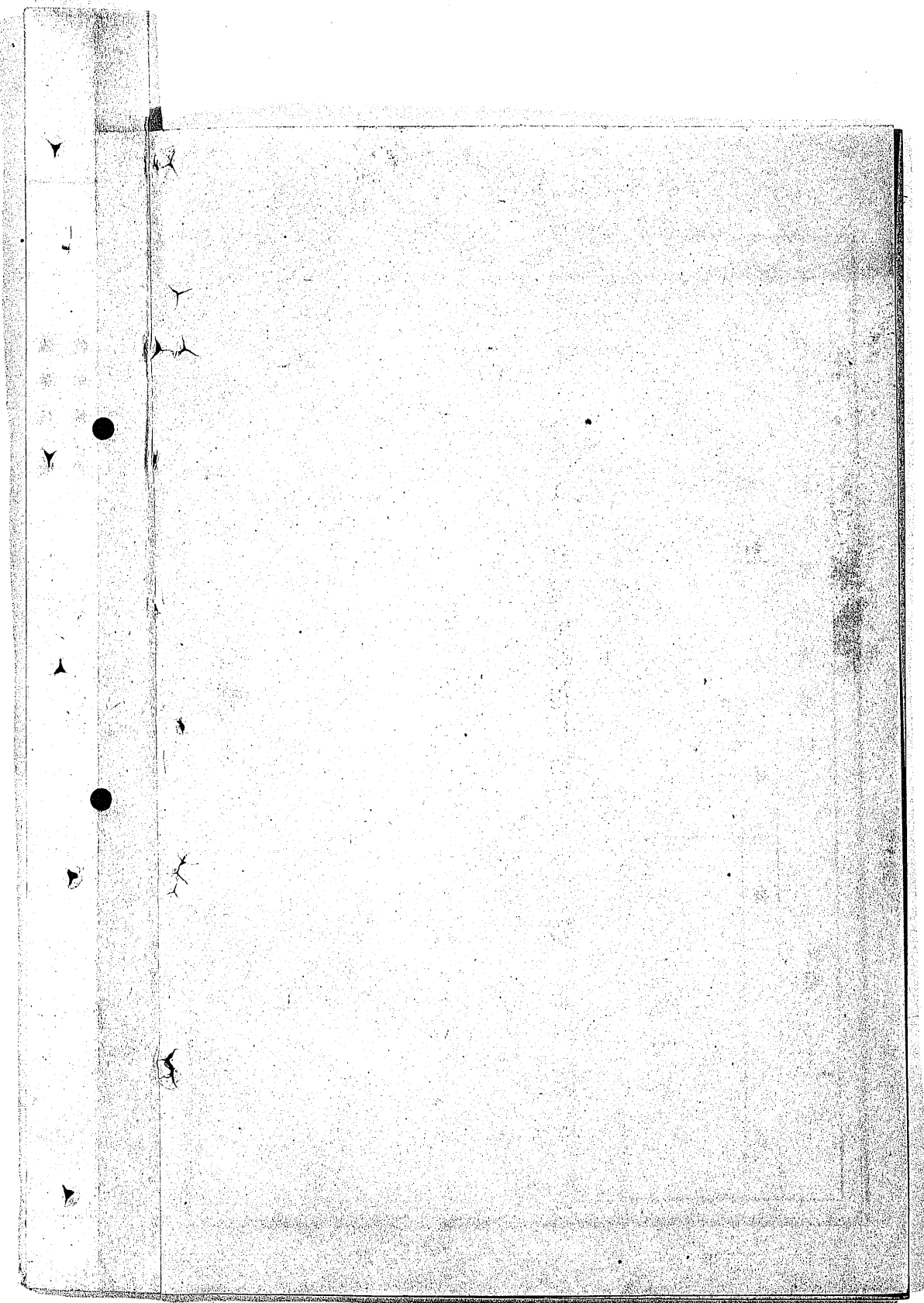
者

料

考備

一 表中加入者ハ年度末日ノ現在員ヲ掲クヘシ

6-0010



6-0010



明治四十二年三月訓令第376號別冊

外務省所管

明治四十一年度關東都督府特別會計歲入歲出科目表

6-0010

0545

明治四十一年度外務省所管關東都督府特別會計歲入歲出科目表

款	項	目
歲入 經常部		
第一款 關東都督府歲入	第一項 租	第一目 地
		第二目 鹽
	第二項 官業及官有財產收入	第一目 切手類賣下收入
		第二目 電信電話收入
		第三目 郵便收入
		第四目 土地家屋賃下料
		第五目 囚徒工錢及製作收入
		稅 租

6-0010

歲入臨時部		
第一款 官有物拂下代	第二項 官有物拂下代	第二項 雜收入
第二款 補充金	第一項 補充金	第一項 諸免許及手数料
		第二項 懲罰及沒收金
		第三項 雜收入
	第一項 物品拂下代	
	第一項 補充金	

歲出經常部		
第一款 關東都督府	第一項 俸給及諸給	第一項 勅任俸給
		第二項 奏任俸給
		第一節 都督
		第二節 民政長官
		第三節 警視總長
		第四節 事務官
		第五節 病院長
		第一節 參事官
		第二節 事務官

6-0010



第二項 廳 費											
第四目 消耗品		第三目 筆紙墨文具			第二目 圖書及印刷費			第一目 備品費			
第一節 薪炭油類	第二節 硯小道具類	第三節 筆墨印肉類	第四節 諸帳簿	第一節 用紙	第二節 印刷費	第三節 製本費	第一節 圖書	第二節 雜品	第一節 器具機械		
第三目 判任俸給											
第四目 加官及死		第五目 亡賜金及俸									
第六節 技手	第五節 教諭	第四節 訓導	第三節 調劑	第二節 書記	第一節 屬官	第八節 翻譯官	第七節 藥局長	第六節 醫員	第五節 技師	第四節 警視	第三節 祕書官

6-0010

0049

<p>第七項 印紙類諸費</p> <p>第八項 滯納處分費</p> <p>第九項 難民貸與金</p> <p>第十項 馬匹費</p> <p>第七項 機密費</p>	<p>第一目 印紙類諸費</p> <p>第二目 滯納處分費</p> <p>第一目 難民貸與金</p> <p>第一目 馬匹費</p>	<p>第二節 慰勞金</p> <p>第三節 時間外手當</p>	<p>第三項 修繕費</p> <p>第四項 恩賜及褒賞費</p> <p>第五項 旅費</p> <p>第六項 雜給及雜費</p>	<p>第五目 通信運搬費</p> <p>第六目 電報料</p> <p>第一目 各所修繕</p> <p>第一目 恩賜</p> <p>第二目 褒賞費</p> <p>第一目 旅費</p> <p>第一目 給與</p>	<p>第二節 雜用品</p> <p>第二節 通信費</p> <p>第二節 運搬費</p> <p>第一節 囑託手當</p>
--	---	---------------------------------	---	--	--

6-0010

第二款 法院			
第一項 俸給及諸給			
第二項 廳費	第一目 機密費	第一目 勅任俸給	第一節 高等法院長
第二目 圖書及印刷費	第二目 奏任俸給	第一節 判官	第一節 判官
第一目 備品費	第三目 判任俸給	第二節 檢察官	第二節 檢察官
第二目 圖書及印刷費	第四目 加官俸	第三節 通譯官	第三節 通譯官
第一節 器具機械	第五目 退官及死賜金	第一節 書記	第一節 書記
第二節 圖書		第二節 翻譯生	第二節 翻譯生
第三節 製本費			
第四節 印刷費			
第一節 用紙	第三目 筆紙墨文具	第一節 用紙	第一節 用紙
第二節 諸帳簿	第一節 筆紙墨文具	第二節 諸帳簿	第二節 諸帳簿
第三節 筆墨印肉類	第二節 筆紙墨文具	第三節 筆墨印肉類	第三節 筆墨印肉類
第四節 硯小道具類	第三節 筆紙墨文具	第四節 硯小道具類	第四節 硯小道具類
第一節 薪炭油類	第四目 消耗品	第一節 薪炭油類	第一節 薪炭油類
第二節 雜用品	第五目 消耗品	第二節 雜用品	第二節 雜用品

6-0010

第三款 監獄費												
第一項 俸給及諸給										第六項 裁判及登記費		
第一目 奏任俸給	第二目 登記費	第一目 裁判費								第五項 雜給及雜費		
第一節 典獄	第一節 登記用紙	第一節 證人通事鑑定人旅費手當	第二節 執達費	第三節 郵便送達費	第四節 差押入物費	第五節 訴訟助費	第六節 破産執行費	第七節 雜費			第四項 旅費	
										第一目 各所修繕		
										第一目 旅費		
										第二目 司法旅費		
										第一目 給與		
										第二目 雇員給料		
										第三目 備人		
										第四目 被服費		
										第五目 雜費		
										第一節 通信費		
										第二節 運搬費		

6-0010

第二項 廳費					第二項 廳費						
第二目 判任俸給		第三目 加俸		第四目 退官及死亡賜金		第一目 備品費		第二目 圖書及印刷費		第三目 筆紙墨文具	
第一節 監吏		第一節 器具機械		第一節 雜品		第一節 圖書		第一節 製本費		第一節 印刷費	
第二節 翻譯生		第二節 雜品		第二節 雜品		第二節 雜品		第二節 製本費		第二節 印刷費	
第三節 諸帳簿		第三節 薪炭油類		第三節 雜用品		第四節 視小道具類		第一節 薪炭油類		第一節 雜用品	
第四節 筆墨印肉類		第一節 薪炭油類		第一節 雜用品		第一節 薪炭油類		第一節 薪炭油類		第一節 雜用品	
第五節 諸帳簿		第一節 薪炭油類		第一節 雜用品		第一節 薪炭油類		第一節 薪炭油類		第一節 雜用品	
第一目 各所修繕		第一目 旅費		第一目 給與		第五目 通信運搬費		第一節 通信費		第二節 運搬費	
第三項 修繕費		第四項 旅費		第五項 雜給及雜費		第一目 各所修繕		第一目 旅費		第一目 給與	

6-0010

第四款 警察費							
第七項 給助費		第一項 俸給及諸給		第六項 在監人費			
第四目 療養費	第五目 雜費	第一目 給助料	第二目 療治料	第三目 弔祭料	第一目 奏任俸給	第二目 判任俸給	第二目 看守及女監取掃俸給以
第一節 工業資金	第二節 給與工錢	第一節 警視	第一節 警	第二節 翻譯生部			第一節 慰勞金
						第二節 囑託手當	
						第三節 看守手當	
						第一節 被服費	
						第二節 臥具費	
						第一目 食糧費	
						第二目 被服費	
						第三目 就役費	
						第四目 雇員給	
						第五目 傭人料	
						第六目 被服費及	
						第七目 雜費	

6-0010

					第二項 廳費						
第五項 雜給及雜費		第四項 旅費		第三項 修繕費		第四目 消耗品		第三目 加俸		第四目 退官及死	
第一目 給與		第二目 旅費		第一目 各所修繕		第六目 銃器及彈藥費		第七目 渡切費		第五目 通信運搬費	
第一節 囑託手當						第一節 薪炭油類		第二節 雜用品		第一節 器具機械	
						第一節 通信費		第二節 運搬費		第二節 雜品	
										第一節 圖書	
										第二節 製本費	
										第三節 印刷費	
										第一節 用紙	
										第二節 諸帳簿	
										第三節 筆墨印肉類	
										第四節 硯小道具類	
										第一節 圖書及印刷費	
										第二目 筆紙墨文具	

6-0010

第六項 給助費

第三目	雇員給
第二目	巡查俸給
第四目	巡捕給料
第五目	傭人料
第六目	渡切費
第七目	被服及帶具費
第八目	留置人賄費
第九目	警察賞與
第十目	囚人及刑事被 告人押送費
第七目	退去處分 者送還費
第七目	雜費

第二節 慰勞金
第三節 巡查月手當
第四節 特別手當

第五款 通信費

第七項	船舶費
第八項	馬匹費
第九項	請願巡查費
第十項	練習生費
第一項	俸給及諸給

第一目	給助料
第二目	療治料
第三目	弔祭料
第一目	船舶費
第一目	馬匹費
第一目	請願巡查費
第一目	練習生費
第一目	奏任俸給

第一節 通信事務官

6-0010

第二項 修繕費
 第三項 旅費
 第四項 通信事業費

第二目 判任俸給	第三目 加 亡退賜官及死俸	第四目 各所修繕	第一目 器具材料雜費
第一節 通信書記	第二節 通信書記補	第三節 通信技師	第一節 器具材料

第二目 運搬費
 第三目 證票類費
 第四目 給與

第二節 用紙諸帳簿	第三節 印刷書費	第四節 通信費
第一節 現業及勤	第二節 現業及勤	第三節 現業及勤

第五目 雇員給
 第六目 備人料
 第七目 集配及遞送費

第一節 汽車遞送料	第二節 航空遞送料	第三節 及臨時送配料
-----------	-----------	------------

6-0010

第六款 港務局

第一項 俸給及諸給

第八目	渡切費	第一節	港務官
第九目	船車馬費	第二節	海事官
第十目	土地建物費	第三節	港務醫官
第七目	被服費	第一節	港務官補
第六目	雜費	第二節	港務醫官補
第五目	奏任俸給	第三節	屬
第四目	判任俸給		

第二項 廳費

第四目	加退官及死	第四節	技手
第三目	備品費	第一節	器具機械
第二目	圖書及印刷費	第二節	雜品
第一目	筆紙墨文具	第一節	圖書
		第二節	製本費
		第三節	印刷費
		第一節	用紙
		第二節	諸帳簿
		第三節	筆墨印肉類

6-0010

第五項 雜給及雜費		第四項 旅費		第三項 修繕費		第四目 消耗品	
第一目 各所修繕	第一目 旅費	第一目 給與	第二目 雇員	第三目 備料	第一節 薪炭油類	第二節 雜用品	第四節 視小道具類
第一節 通信費	第二節 運費						

第六項 標識及信號費		第七項 船舶費		第八項 海港檢疫費		第七款 諸拂戻及缺損補填金	
第四目 被服費	第五目 雜費	第一目 標識費	第二目 信號費	第一目 船舶費	第一目 海港檢疫費	第一目 諸拂戻金	第二目 缺損補填金

第八款 諸支出金	
第一項 死傷手當	

三五

6-0010

第九款 豫備金		
第二項 訴訟費及	第一項 第一豫備金	第二項 第二豫備金
第一目 死傷手當	第一目 賠償金	第二目 訴訟費
第一項 俸給及諸給		
第二目 奏任俸給	第二目 判任俸給	
第一節 事務官	第二節 技師	第一節 屬

三六

第二項 廳費			
第一目 備品費	第二目 圖書及印刷費	第三目 筆紙墨文具	第四目 加官及死
第一節 器具機械	第二節 雜用品	第一節 圖書	第二節 製本費
		第三節 印刷費	第二節 用紙
		第一節 諸帳簿	第二節 筆墨印肉類

三七

6-0010

<p>第十項 新 營 費</p> <p>第九項 旅順道路橋梁下水築造費</p> <p>第八項 大連造道費</p> <p>第七項 大連事連費下水</p> <p>第六項 大連事連費上水</p> <p>第五項 電信電話費</p>					<p>第四項 雜給及雜費</p> <p>第三項 旅 費</p>									
<p>第一目 奉天其他郵便電信局 奉天其他郵便電信局</p>	<p>第一目 旅順道路橋梁下水築造費</p>	<p>第一目 大連造道費</p>	<p>第一目 大連事連費下水</p>	<p>第一目 大連事連費上水</p>	<p>第一目 電信電話費</p>	<p>第五目 雜 費</p>	<p>第四目 被 服 料</p>	<p>第三目 備 人 料</p>	<p>第二目 雇 員 給</p>	<p>第一目 給 與</p>	<p>第一目 旅 費</p>	<p>第五目 通信運搬費</p>	<p>第四目 消 耗 品</p>	
									<p>第一節 囑託手當</p> <p>第二節 慰勞金</p> <p>第三節 外勤手當</p>		<p>第一節 通信費</p> <p>第二節 運搬費</p>	<p>第二節 雜用品</p>	<p>第二節 薪炭油類</p>	<p>第四節 視小道具類</p>

6-0010

第二款 地方費補足

第一項 地方費補足

第一目 地方費補足

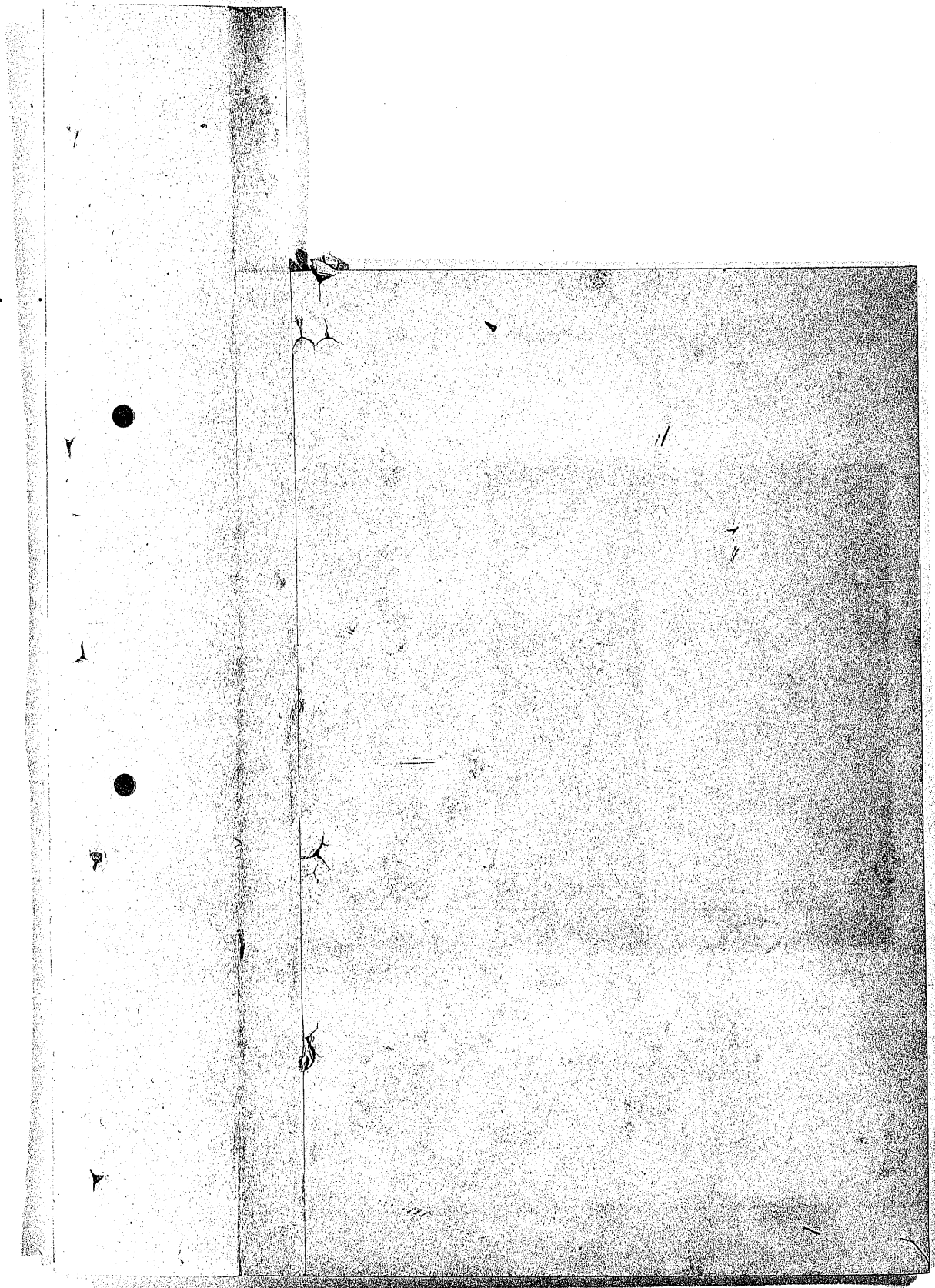
第四節 雜費

第七項 修繕費
第七項 測量及
第七項 官地家
屋整理費

第二目 長春警務署
第三目 撫順警務支署
第四目 奉天及長春測候
所聯合官舍新營
第五目 警察官駐在所
第六目 各所新營
第七目 船舶購買
第一目 各所修繕
第一目 測量及調查費
第一目 官地家
屋整理費

第一節 事務所費
第二節 旅費
第三節 雜給

6-0010



6-0010



明治四十一年四月十五日

警政事務局

第一課

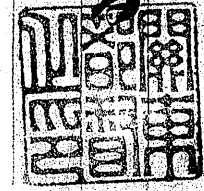
警政文書第二八八號

受第六五九七號

第六門

當府府令第廿二、廿三號訓令第四十一、四十二號發布候二片別紙及報告候也
明治四十一年四月九日

關東都督子爵大島義昌



外務大臣伯爵林董殿

人事課

會計

明治四十一年六月十日

關東都督府

6-0010

府令第二十二號
 關東州民事訴訟用印紙規則
 明治四十一年四月八日
 關東都督 子爵大島義昌

府令第二十三號
 關東州民事訴訟用印紙規則左ノ通相定ム
 明治四十一年四月八日
 關東都督 子爵大島義昌

關東州民事訴訟用印紙規則
 第一條 民事訴訟ノ書類ニ此ノ規則ニ依ルノ外明治三十三年法律第六十五號民事訴訟用印紙法ニ依リ印紙ヲ貼用スベシ
 第二條 財產權上ノ請求ニ係ル始審ノ訴狀ニハ訴訟物ノ價格ニ應ジ左ノ區別ニ從ヒ印紙ヲ貼用スベシ

訴訟物ノ價格十圓マテ	四十錢
同 五十圓マテ	一圓八十錢
同 百圓マテ	三圓五十錢
同 三百五十圓マテ	七圓
同 同 五百圓マテ	十二圓
同 同 一千圓マテ	廿圓
同 同 三千五百圓マテ	三十五圓
同 同 五千圓マテ	五十圓
同 同 五千圓以上	五十圓ノ加フ

第三條 上訴狀ニハ前條ノ規定ニ從ヒ其ノ金額ノ印紙ヲ加貼ス
 第四條 民事訴訟用印紙法第六條ニ依リ貼用スベシ印紙ノ之ヲ
 附則
 本令ニ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

6-0010

訓令第四十二號

關東都督 民政官 警務部 署

第四條 關東都督 子爵大島義昌

明治四十一年四月八日

關東都督 子爵大島義昌

一、死傷手当

二、遺族慰問金

三、賠償及訴訟費

四、賠償及訴訟費

訓令第四十二號

關東都督 子爵大島義昌

明治四十一年四月八日

關東都督 子爵大島義昌

一、死傷手当

二、遺族慰問金

三、賠償及訴訟費

四、賠償及訴訟費

告示第三十七號
 大連民政署、明治四十一年四月二十二日大連市大廣場ニ移轉
 同二十三日ヨリ事務ヲ取扱フ
 明治四十一年四月二十日
 關東都督 子爵大島義昌

告示第三十八號
 明治四十一年十一月一告示第八十九號警務署及警務支署ノ名稱位置管
 轄區域中公主嶺警務署以下ヲ左ノ通改正ス
 明治四十一年四月二十日
 關東都督 子爵大島義昌

名稱	位置
長春警務署	長春
長春警務署公主嶺支署	公主嶺

管轄區域
 公主嶺以北
 公主嶺以南

道轄

自双廟子至長春(双廟子ヲ除ク)

6-0010

訓令第四十五號

民政部
警務署

關東都府府巡查通譯兼筆試驗規程左ノ通相定ム
明治四十一年四月十七日 關東都府 子爵大島義昌

第一條 關東都府府巡查通譯兼筆試驗規程ニ依リテ
第一條 巡查通譯兼筆ヲ命免スルハ此ノ規程ニ依リテ

第二條 民政部ニ巡查通譯兼筆試驗委員長一人試驗委員若干人
書記一人之數ク試驗委員長ハ警視廳長ヲ以テ之ニ充テ試驗委
員ハ關東都府之ヲ命シ書記ハ試驗委員長之ヲ命ス

第三條 試驗ヲ分テ第一種試驗第二種試驗クニトス
第一種試驗ハ新ニ通譯ヲ兼筆セシムルニテ巡查通譯ニ對シ毎年
三回之ヲ行ヒ第二種試驗ハ現ニ通譯ヲ兼筆セル巡查通譯ニ對シ每
年一回之ヲ行フ但シ必要アルトキハ臨時之ヲ行フコトアルハ
シ

第四條 試驗ハ筆記及口述トス
筆記試驗ハ國文及外國文ニ外國文ヲ國文ニ翻譯セシム
口述試驗ハ會話及讀方トス

第五條 試驗點數ハ筆記及口述トモ各百點ヲ以テ滿點トシ平均
六十點以上ヲ得ケル者ヲ合格トス但シ口述試驗ノ成績六十點
未滿ノ者ハ合格者ト爲スコトヲ得ス

第六條 第一種試驗ニ合格シタル者ニ非サレバ通譯兼筆ヲ命ス
ルコトヲ得ス

第七條 第二種試驗ニ合格セサル者及正當ノ事由ナクシテ第二
種試驗ヲ受ケサル者ハ通譯兼筆ヲ免スルコトアルヘシ

第八條 巡查通譯兼筆手當ハ巡查特別手當支給規則第二條ニ依
ル

第九條 手當ノ増給及減給ハ第二種試驗ノ成績ニ依リテ之ヲ行
フ

訓令第四十六號

民政部
所屬民政各官廳

明治四十一年四月訓令第四十四號別冊明治四十一年度關東州地方
費收入支出科目表中臨時部第一款營繕及土木費第二項新營及修
繕費第十目各所修繕ノ未位ニ旅順水道擴張及改良工事費之目
ヲ設置ス

明治四十一年四月十七日 關東都府 子爵大島義昌

6-0010

明治四十一年四月二十三日

官文第二二二二號

當府府令自第二十四號訓令第四十三、四十四號告示
示第三十四號告示第三十六號告示
發布候ニ付別紙及報告候
也

明治四十一年四月十六日

關東都府子爵大島義昌

外務大臣伯爵林董殿

人事事務

會計

事務

關東洲民政署

西千一年五月一日記録編纂

府令第二十四號
 明治四十一年四月十四日 關東都府子爵大島義昌
 明治四十一年四月十四日 關東都府民政部土木課大連出張所規程
 左ノ通改正云々
 第一條 關東都府民政部土木課大連出張所規程
 第二條 關東都府民政部土木課大連出張所ノ大連ニ置キ大連
 及其ノ附近ニ於テ土木事務ヲ掌ル
 第三條 出張所ニ庶務係、工務係ヲ置ク
 第四條 庶務係ニ於テ左ノ事務ヲ掌ル
 一 會計ニ關スル事項
 二 土木、營造、行政ニ關スル事項
 三 他ノ主管ニ屬スル事項
 第五條 工務係ニ於テ左ノ事務ヲ掌ル
 一 土木、營造ニ關スル事項
 二 測量、設計ニ關スル事項
 三 測量、設計ニ關スル事項
 第六條 出張所ノ事務ニ關スル事項
 第七條 關東都府民政部土木課長ニ出張所全權事務ヲ掌理
 所屬職員ヲ指揮監督ス
 附則
 本令公布ノ日ヨリ施行ス

6-0010

府令第三十五號
 明治四十二年四月十三日 關東都督 子爵大島義昌
 文官普通試驗手数料
 通信書記補特別任用試験手数料
 旅券付手数料
 船舶検査證書付手数料
 同證書換手数料
 別種旅客完員證書付手数料
 證明手数料
 附則
 本令公布の日ヨリ之ヲ施行ス

府令第三十六號
 明治四十二年四月十五日 關東都督 子爵大島義昌
 改正
 第十七條中財務課長ノ下ニ「民政部所屬ノ部局ニテツラハ各部局長」ヲ加フ
 附則
 本令公布の日ヨリ之ヲ施行ス

6-0010



訓令第四十三號

民政部
警務署

關東都府府警察官吏教育所規程左ノ通相定ム

明治四十一年四月十一日 關東都府府子爵大島義昌

第二章 構成及權限

第一條 警察官吏教育所ハ關東都府府民政部所在地ニ置ク

第二條 警察官吏教育所ハ左ノ種別ニ依リ職務上必要ナル學

術及實務ヲ教育ス

第三條 警察官吏教育所ハ左ノ職員ヲ置ク

所長 民政部警務課警務係主任ヲ以テ之ニ充ク

合 監 警部中ヨリ之ヲ命ス

教官 警部中ヨリ之ヲ命ス

教官補 巡查部長中ヨリ之ヲ命ス

事務員 事務教官タル警部事務員ヲ兼スルモノトス

前項ノ外其ノ必要ニ應ジ教育事務ヲ囑託スルコトアルヘシ

第四條 所長ハ上官ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督

所長ハ上官ノ承認ヲ得テ警察官吏教育所所務規程ヲ設ケルコ

トヲ得

所長ハ教育生ノ訓練生心得ヲ定メ之ニ十日以内ノ禁足處分ヲ

付スルコトヲ得

第五條 合監ハ所長ノ命ヲ承ケ教育生ノ訓練生ノ取締ヲ任シ尚

所務ヲ掌理ス

第六條 合監ハ所長ノ命ヲ承ケ教育生ノ訓練生ノ取締ヲ任シ尚

所務ヲ掌理ス

第七條 教官補ハ所長及合監ノ指揮ヲ承ケ教育生ノ訓練生ノ教

育及取締ヲ補助ス

第八條 事務員ハ所長ノ命ヲ承ケ庶務及會計ニ關スル事務ヲ取

扱ス

第三章 教育課程及期限

第九條 教育科目及教育時間ハ左ノ如シ但シ必要ニ應ジ上官ノ

承認ヲ得テ更ニ縮短スルコトヲ得

科別		科目		習時間	
學	憲法大意	警察法規	國際法大意	刑法	刑事訴訟法
術	支那語	衛生警察法	兵式操練	警察禮式	射的
科	憲法	行政法	國際公法	警察法	刑事法
科	憲法	行政法	國際公法	警察法	刑事法
術	支那語	衛生警察法	兵式操練	警察禮式	射的
馬術					

一 巡查教育生(袖ヲ採用シタル者)
二 巡查訓練生(現職者)

上

科	擊	劍	柔	術
捕	柔	術	劍	擊
科	擊	劍	柔	術
捕	柔	術	劍	擊

第十條 教習生ノ教育期限ハ三箇月訓練生ノ訓練期限ハ六箇月トス但シ官ノ承認ヲ得テ期限ヲ伸縮シ得ルコトヲ得

教習生ニシテ會テ巡査タリシ経験ヲ有シ又ハ相當ノ學術、技能アリト認めタル者ニ對シテハ教育期間ヲ短縮シ又ハ教育科目ノ一部若ハ全部ヲ省略スルコトヲ得

第十一條 休暇ハ特別ノ事由ナキ限りハ試験成績調査日及一般官衙ノ休暇日トス

第三章 試験及證書

第十二條 教習又ハ訓練ノ期限終了シタルトキハ試験ヲ行フ試験ノ筆記又ハ口述トス但シ術科ハ試験成績簿ニ平素ノ成績ニ依リ考査スルコトヲ得

第十三條 試験成績ノ得點ハ科目毎ニ二百點以下最高點以下各科ヲ通シ平均六十五點以上ノ者ヲ合格トス但シ科目三十點未滿ノ者ハ不合格トス

第十四條 試験ニ合格シタル者ハ修了證書ヲ與ヘ尙其ノ成績優等ニシテ品行方正ナル者ハ賞狀ヲ付與スルコトアルヘシ

修了證書及賞狀ハ別記様式ニ依ル

附則

第十五條 教習生、訓練生ノ上衣並外套ノ左臂ニ別記徽章ヲ付ス

明治三十八年關東州民政官訓令第三十號關東州民政官巡査教習所規程之ヲ廢止ス

(別記)

(用紙鳥ノ子)

九寸

修了證書
巡査教習生(訓練生)何某

巡査教習科修了ノ因テ之ヲ證ス

年月日

關東都府府警察官吏教習所

一尺一寸五分

(用紙鳥ノ子)

九寸

賞狀
巡査教習生(訓練生)何某

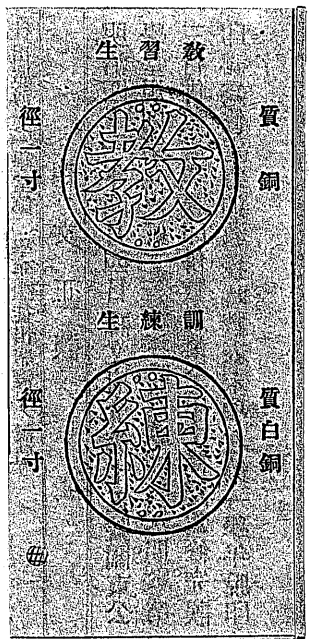
試験成績簿等ニシテ平素ノ品行方正ニ付之ヲ賞ス

年月日

關東都府府警察官吏教習所

一尺一寸五分

6-0010



訓令第四十四號

明治四十三年度關東州地方費收入支出科目別冊ノ通相定ム

明治四十一年四月十一日 關東都督 子爵大島義昌

(別冊ハ別ニ之ヲ頒之)

所屬民政各官廳

民 政 署

民 政 部

6-0010



告示第三十四號
大連大廣場及市場ニ於ケル給水所ハ明治四十一年三月三十一日
限リ之ヲ閉鎖シタリ
明治四十一年四月十二日
關東都督 子爵大島義昌

告示第三十三號
明治四十年五月府令第三十二號ニ依ル銀ノ價格ヲ明治四十二年四月
月十二日以降銀三圓ニ付金八十八錢ニ改定ス
明治四十一年四月十二日
關東都督 子爵大島義昌

6-0010

告示第三十六號
明治四十年正月告示第八號中「電話料電話呼出料」之「電話料」
「通話時之電話料」之「通話時之電話料」改之
明治四十二年四月十三日 關東都督 子爵大島義昌

正誤

明治四十一年三月三十一日報告當府府令第十三
號第三行目明治三十二年「明治三十三年同告
示第二十七號第五行目「金二十錢」上「安東
縣新義州間」七字ヲ脱ス

關東洲民政署

6-0010

明治四十一年四月二十九日受

主務政務局

止

第一課

七五九一

辦

辦

辦

辦

辦

辦

辦

辦

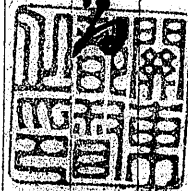
辦

第4号

當府訓令 自第百四十八號 告示第百二十七、二十八號 發布假 別紙及報告假也

明治四十一年四月二十二日

關東都督大島義典



外務大臣 伯耆林董殿

人事 山本

會計 松本

如由 兼地

明治四十一年六月十三日

關東都督府

6-0010